

長根連区 長根ふれあいセンター“連”
 日時 令和3年10月30日(土) 午前10時～11時20分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 地域清掃ごみは有料化の対象外となっているが、個人で自宅周辺や河川敷等のごみ拾いや清掃を行っている人の清掃ごみも有料化の対象になるのか。有料化実施に伴い、個人に対し清掃用の袋を配布することができないか。	現在も自治会や町内の地域清掃や個人のボランティア清掃に対し、専用の袋をお渡し回収を行っている。地域清掃の袋は自治会へ配布し、地域清掃で使用する際に使用していただいている。個人の清掃はボランティア袋を環境課窓口で配布を行っているが、普及していない可能性があるため、この情報を広めていけるようにする。
2 プラごみの収集を始めるということだが、瀬戸市は今までやっておらず近隣市町はすでにやっている。我が家のごみ袋の中にもたくさんのプラごみがあるので、まずプラごみの分別をやってから有料化でも良いのではないか。また、プラごみはスーパー等での買い物時に発生するので、過剰包装をやめるとか、市から企業等に働きかけてほしい。	尾張旭市、長久手市はすでにプラの分別を行っている。本市も組成調査の結果から、燃えるごみの中にプラが多いことがわかっている。また、環境省からプラスチックの資源化促進の取り組みが求められている。ペットボトルのラベルをなくし販売する等して、過剰包装をやめる企業努力をしているところもある。行政も企業も市民も資源化を協力して行っていく必要がある。プラの分別や有料化も含めて、ごみを減らしていきたいと考えている。
3 有料化制度の決定は、12月に決めるのか。	計画を決めるにあたり、いつまでに行うのかを示していかなければならない。現在は、計画を策定する前段階であり、有料化の実施に向けて議会にあげる必要があるため、その前に計画の決定として12月を予定している。
4 長久手市や尾張旭市は県内のごみ排出量のグラフを見ると少ないところに位置しているので、どうやってごみを減らしているのか調べてほしい。	長久手市はすでに有料化を実施している。また、令和5年7月から本市と同様にごみ袋1枚を50円にする予定で進めている。尾張旭市はごみが減っている状況をキープしているということで、有料化の実施には踏み切っていない。同じ晴丘センターに搬入している3市の状況は、ごみ量も分別も収集体制においても異なっているので一概には言えないが、注視していく。
5 ミックスペーパーやプラスチックを取り除けばごみが減ると言うが、ようやくプラスチックを始めるのかという気持ちである。	プラスチックの収集や処理には高い費用がかかり、他市町村が分別を始めたころはプラスチックのリサイクルルートについても確立されていなかった。国の施策で行政も企業も市民も努力していくことが示されており、プラスチックの分別収集を始めることとする。
6 周知について、働いている世代は、広報や新聞を見ることはなく、回覧板も見ない。周知の仕方をもっとわかりやすくするべきではないか。市のホームページを確認したが、「へらせっと大辞典」もわかりにくい。	周知の仕方については、まだまだ検討の余地があり、わかりやすく伝える必要があると考えている。
7 昔はごみを庭で燃やすことができた。今、生ごみは処理機を使い出さないようにし、資源物も分別をしている。植木等を庭で燃やせるように考え直してほしい。	本市は草木が多い地域だと考えるが、燃やすのではなく、堆肥化等で資源化できるように検討していく。
8 プラスチックの分別収集が始まるのであれば、出し方等について住民に対し説明をしていく必要があるのではないか。	プラスチックの分別についても、説明会を開催できればと考えている。

9	資源物の回収を民間の回収ステーションか市の収集に出すのかどちらが良いのか。資源リサイクルセンターの人件費などで運営が赤字になるのなら民間業者の回収ステーションを増やすのはどうか。	資源リサイクルセンターに持ち込まれているものや市で収集しているものは一部売り払いを行っている。年度ごとに売り払いの金額や人件費も違うので、今赤字かどうかはお答えできない。市としては、有価物としてお金が欲しいわけではなく、ごみを減らしリサイクルを進めることである。市民の皆様は出しやすいところに出していただき、資源化を進めてほしい。
10	手数料収入の用途について、ごみの量が減ってごみの処理に使うお金が減るのであれば、袋の価格設定を下げたりするなど、ごみに使べきではないか。福祉の施策は福祉で予算をつけて行うべきではないか。	福祉について使用するという考え方もあるので、記載した。ごみに関する施策のみに使ってほしいという意見は承る。ただ、価格設定を下げるという約束はできない。ごみの量が減ってきた際に検討していくことになる。
11	ごみを減らすことに対して、教育を利用し子どもたちにごみについて学ぶ時間を設けることができないか。子どもから親に話すことで、ごみ減量につながるのではないか。	学校教育についてはコロナ禍でなかなか思うように進めることができていないのが現状である。コロナ前は資源リサイクルセンターで環境学習を行っていた。また、コロナが落ち着けば再開できるように進めていきたい。
12	燃えないごみの出し方が非常に不便だと感じる。指定袋に出すのも手間である。利便性をあげるように検討してほしい。	本市も以前は集積所で回収をしていたが、不法投棄が多かったため、予約収集に切り替えた。予約収集にすることで、誰がいつ出すかが分かるため、不法投棄も減り、分別指導ができるようになった。
13	布団や剪定枝にごみ袋を貼りつけると袋が盗難にあうのではないか。	出しやすさの面も考えながら出し方について検討をしていく。
14	12月に計画決まるのが体裁だけにならないようにしてほしい。意見の回答はもらえるのか。	強引に決めるものではないので、パブリックコメントや説明会を開き、多くのご意見をいただきたい。いただいた意見の回答はまとめてホームページ等で公表する予定としている。

品野連区 品野台地域交流センター
日時 令和3年11月2日(火) 午後7時～8時15分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 グラフの見方について、人口の縦軸の下限値がゼロでないのはおかしいのではないかと感じる。	このグラフは、ごみ量と人口の対比ではなく、実績をまとめたものとなります。1人1日あたりの家庭ごみの排出量は別のグラフでお示しております通り、人口が減少している状況でごみ排出量は増えております。これは分別の甘さであったり、ごみの出し方によるものと考えられますので、今一度ごみについてお考えいただく問題提起をするための資料として作成しております。ご理解をいただければと思います。
2 有料化した自治体の実績が一部しか掲載されていないので、その他の実績も教えて欲しい。また、減量率は分別収集の方法でも変わると思う。資料としてはそれが分かるものが必要だと思う。	資料には、直近10年間で有料化を実施した自治体の実績をすべて掲載している。減量率は、市町によっては分別と合わせて実施したところもあり、美浜町・南知多町は有料化と同時にプラの分別収集を開始したと聞いております。
3 有料化を実施することで、不法投棄が増えているという現状はあるか？また、増えている場合の対策はどうしているのか。	有料化を実施している市町にヒアリングしたところ、有料化を実施したことでごみに対する市民の意識が高まり、不法投棄は増えていないということ聞いております。
4 晴丘センターの延命化に取り組んでおり、ごみの減量は必要だと感じる。	ごみ減量は晴丘センターの炉の延命化にも重要だと感じます。ご意見として承ります。
5 7月から新しいごみ袋が販売されるとのことだが、7月8月は現在のごみ袋と新しいごみ袋が同時に販売されるのか。	両方販売する予定です。7月から新しいごみ袋でお出しいただくことも可能です。
6 分別辞書がホームページに掲載されているが、分別はどんどん変わっていくと思う。せっかく分別辞書を配布してもらっても、情報が変わればホームページを見るしかない。現在はPDFファイルしか掲載されていないが、エクセルファイルでも掲載し、自分で修正・加工がしたいが、可能か。	承知しました。検討いたします。
7 今後に向けてごみ袋の仕様をリニューアルするのであれば、カラス対策は考えているのか。	カラスにつつかれないような袋はなかなか難しく、防鳥ネットで対応しているのが現状です。ごみ袋の仕様は現在の袋と似たものになると思いますが、カラスに荒らされないような環境整備に努めていきます。
8 ふとんや剪定枝には袋ではなく、金券シールを作成し貼付できるようにしてはどうか。	ご意見として承ります。
9 啓発ポスターや看板案をホームページからダウンロードできるように雛形を掲載して欲しい。	ご意見として承ります。
10 地域清掃袋は、ごみの有料化後も使用可能か。	使用可能です。有料化開始後も現在と同様に市が用意をして参ります。

全連区対象 文化センター
日時 令和3年11月4日(木) 午後7時～8時20分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 どこで手数料を払えばいいのか。	令和5年7月から袋を販売しますが、袋の販売価格が手数料となりますので、袋を購入された時点で手数料が納入されるものとなります。
2 インターネットで調べたところ、袋1枚の原価は88円が一般的。新しいごみ袋の価格が88円より高いか教えて欲しい。同じ金額でできればかなり手数料が高いと感じた。全国で値上げした例をみると、500円で始めたが350円、250円に値下げしたところや、岐阜市のようにお金を取らない自治体もある。袋の指定すらない自治体もある。500円が本当に妥当かどうか。納得できない。	ご意見として承ります。
3 瀬戸市はごみ集積所がなく道路際に出す地区もある。集積所を各地区に作るなどの整備も必要ではないか。	地域性もあり、道路の関係などで個出しをせざるを得ない場所もございます。ご意見をいただいたような集積所の整備について、すぐに対応することは難しいと感じます。
4 市外のスーパーでは資源物回収でポイント制度を導入しているところもある。資源物を出しているが、見返りが無い。ポイントなどが付けば、資源化する励みになる。	市内にも同じような取り組みを実施しているスーパーもございます。市からも働きかけを行いたいと思います。
5 木の枝やふとんは、どのくらいの量でどの程度の金額設定になるのか、伺いたい。	金額をいくらにするのか、量をどの程度に設定するのかは、未定となります。例えば、横1m以内、結ぶ長さが何センチ、縦横何センチの中に納めれば20円袋をつけて欲しい、というような形になるかと思いますが、金額や量は決まっておりませんので、ぜひご意見をいただきたいと思います。
6 ごみの減量は温暖化の問題もあり大事なことだと思うが、一方で、袋の価格が120円から500円、4倍以上になる。コロナの問題もあり生活が厳しい方も多くいらっしゃる。このような状況の中で、あらゆる人に関わる生活ごみに対する低所得者への負担が大きい。	平成26年度に策定した「ごみ処理基本計画」の目標に近い15～20%のごみ減量効果を見込むことができるのは、統計資料に基づいて大袋1枚50から60円の手数料設定であるため、それを参考に設定させていただきました。
7 有料化の目的はごみ減量だということであれば、ごみの問題やミックスペーパーについて市民に知れ渡っていない。このような状況では膝を交えて減量を訴えていくことが本当の減量運動になると感じる。パブコメでしか意見が言えないのは、審議会の意向と反しているのではないか。瀬戸市としてのごみ減量目標はどうなっているのか。処理費用まで市民に負担させる考え方を前提としていいのか、お金を出さないと市民は自覚できないと感じる。費用を出す公平性よりも生活の中での公平性を考えることであって、格差を助長する方針であるため、見直していただきたい。	意見をいただく期間につきましては、一定期間を設けていかないと際限がなくなってしまうので、申し訳ないが期間を設けさせていただきました。各地域からもご意見をいただくということで、自治会様と連携して説明会を実施させていただいております。有料化を実施するにあたっては、きめ細かく説明をしていく予定です。制度内容が決定した後も、ごみの減量や分別について膝を交えて説明して参ります。

8	<p>瀬戸市のごみがどうして減らないのか、どのように考えているのか。ミックスペーパーについて、地域の他の方は知らない人が多い。有料化はごみを減らすことなので、袋がいくらとなっても仕方ないと思うが、本当にごみは減るのか。プラの分別は良いこと。町内会だけでなく、学校などの地域も巻き込んで動かないと、ごみ量がリバウンドがあるのではないかと危惧される。</p>	<p>瀬戸市のごみの中身を調査した結果、資源になるものが約30%入っています。水きりやミックスペーパーの分別をしっかりと行い、そこに来年度からは行うプラスチック製容器包装の分別が加われば、袋のサイズが45リットルであったものが30リットル、20リットルと小さくすることが可能なのではないかと考えております。そこに経済的なインセンティブ、袋が高くなるのを機会に、ごみの出し方の意識をなかなか持っていただけなかったものを持っていただくということを考えております。</p>
9	<p>年齢を重ね、集積所に運ぶことが本当に大変だと感じる。そのようなことも考えなければ、分別は進まないと感じる。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
10	<p>「高齢者や障がい者への支援に使います」はごみとは別のこと。瀬戸市はおむつの支援や障がい者手当を削減することを実施してきた。おむつの廃棄に袋がたくさん必要となるのは分かるが、手数料収入を障がい者施策等に使うのはお門違いだと感じる。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
11	<p>全国で6割、愛知県内で約5割が有料化実施状況ということですが、資料は減量が成功したところの抜粋のみか。ごみが増えたところはないのか。</p>	<p>資料は過去10年間の実績すべてを掲載しております。しかしながら、実際に有料化を実施したがリバウンドしてしまった、という自治体もあります。大きな理由は、添加した手数料金額が10円、20円というように少なかったところは、数年後ごみ量が元に戻ったということもあったようです。</p>
12	<p>有料化したことで、50円だから何でも捨ててしまえ、という人もできるかもしれない。効果検証はどのくらいの期間で実施するのか。</p>	<p>環境衛生審議会に答申をいただいた内容では、「毎年実施の状況を報告してください」となっております。内容を見直すことも考えておりますが、頻繁に変えることは難しいので、ごみ処理基本計画の見直しに併せて5年間で実施したいと考えております。</p>
13	<p>監視カメラでの対応はすごくお金がかかると思うが、予算金額をいくら程度見込んでいるのか。</p>	<p>不法投棄が増えることは当然予測はしております。有料化の先行自治体にヒアリングしたところ、そこまで不法投棄が増えたということはなかったようです。体制の強化はして参りますが、適正にごみをお出しいただけるものと思っております。</p>
14	<p>ごみ出しを意識して生活していると20リットルサイズでも大きいので、もっと小さい袋を用意して欲しい。ごみ出しマナーが悪い人は本当に悪い。袋に名前を書くようにしてほしい。もっと値段が高くて良いが、啓発しても変わらない人はいる。</p>	<p>記名式について、燃えないごみ・粗大ごみについては実施しておりますので、ご意見として頂戴します。袋の大きさについてはご意見としていただき、検討したいと思います。</p>
15	<p>プラスチック製容器包装の袋は、値段、仕様はどのようになるのか。プラスチック製容器包装はかさはあるが重さはない。ごみの多くが廃プラなので、袋の値段は高くしないで欲しい。</p>	<p>プラスチック製容器包装の分別収集は来年度秋スタートを目指して準備を進めており、詳細は決まっておりますが、資源用指定袋を作りたいと考えております。古布やミックスペーパーも同じ袋にするか、検討しておりますので、決定次第ルールをお知らせさせていただきます。指定袋は処理費用の上乗せは行いませんので、今のごみ袋程度ではないかと思いますが、市場価格となるのではっきりとは分かりかねます。</p>

16	新しいごみ袋の仕様検討中とあるが、強度についてはどうか。不燃袋程度の強度にして欲しい。他の自治体で実施しているところも同じような強度なのか。	袋の仕様につきましては、ぜひご意見を出していただきたいところになります。強度は、厚さによるところが大きいのですが、厚くなれば袋の値段が上がりますので、破れにくいぎりぎりしたいと考えます。今は取って無しの袋ですが、市には取っ手付きにして欲しいというご意見が結構ございます。お気づきの点があれば、パブリックコメント中にご意見をお願いいたします。
17	一般廃棄物処理費用はどの団体でどの費用になるのか。	瀬戸市内で出た廃棄物は瀬戸市が処理処分をすることとなっていますので、一般廃棄物処理費用は瀬戸市の税金ということになります。粗大ごみにつきましては、処理券を貼っていただくことで一部を手数料としてご負担いただいております。
18	手数料として税金になるのか。	手数料として一般の会計に入り、予算の中に入ります。
19	ごみが減れば収集運搬、処理・処分費用が減るということでよいか。また、手数料をごみ以外の用途に使うというのは違うと思う。	ごみが減れば処理する費用が減少するものと考えております。ご負担いただいた手数料が処理費用に消えていくことは間違いありませんが、ごみが減ることで、市の他の施策に予算を使うことができると考えています。
20	買物をする時紙容器やプラスチック製容器包装がついてくるため、分別すると結構な量になる。分別をきちんと進めて意識改革が必要だと思うが、プラスチックの回収を実施するだけで結構な量になるので、その前に有料化の話は時期尚早ではないか。	資源分別の徹底は、有料化と併せて実施することでより多くの方が分別に取り組む効果的なごみ減量を目指したいと考えております。先行してプラスチック製容器包装の分別収集を実施し、ごみ減量を実感いただいた上で有料化に取り組みたいと考えます。
21	削減目標を定めるべきではないか。	目標についてはごみ処理基本計画で定めており、現時点では1人1日あたりの家庭ごみ排出量は目標値に85g足りない状況です。
22	名古屋市は紙おむつの回収・再生の考え方もあり、少子化対策としても有効。住みやすい町にするためには良い取り組みを取り入れることが必要だと感じる。	紙おむつの問題については、私どもも検討をしていたが資源化がなかなか難しい状況です。子育てサービスとして何かできないか、出生時に紙おむつを渡す等のご意見も出ておりますので、何とか実現できないかを検討しているところでございます。アイデアがあればいただきたいと思っております。
23	248号線沿いに住んでおり、トラック運転手のごみ投棄が目立つ。ボランティアで回収している方もいらっしゃるが、マナーが悪い運転手には監視カメラなどでの対策ができないか。ある自治体では市が人を雇ってごみ回収するところもあるので、考えてはどうか。	環境美化のご意見として承ります。
24	ごみ袋を作ると予算がかかるが、古いごみ袋が使えなくなる。瀬戸市は高齢者や一人暮らしが多く、昔のごみ出しのままが良い。袋が500円になると買うお金がない。どうしてもやらないといけないのか。	袋については、新しく制度が変わるタイミングで変更させていただき、処理手数料をお支払いいただかない方については収集不可ということでごみをお返ししたいと考えております。皆さんが出したごみに一律に責任をもって処理のご負担をいただくためです。袋を買うお金がないという方につきましては、福祉の関係と相談しながらある程度の施策が打てないか、検討をさせていただきます。
25	有料化の実施内容がある程度決まった段階で、この説明会終了後にもう一度説明会を実施する予定はあるか。また、容器包装プラスチックの分別収集はいつから開始するか。	有料化制度が固まった来年度以降で説明会を開催する予定としております。まずは容器包装プラスチックの分別回収の方法、また令和5年9月に袋が変わるタイミングなどで、複数回このような説明会を開催してごみ減量のお話をする予定としております。容器包装プラスチックの分別は、令和4年10月を目標にしています。

道泉連区対象 道泉地域交流センター
日時 令和3年11月16日(土) 午後7時～8時25分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 地域力では、ごみ袋を景品として配布しているが、10枚500円は高い。活動参加いただいている人に御礼で渡したりしているの、1枚単位で販売してもらえないか。	ごみ処理費用の有料化開始後は、ごみ袋を景品として取り扱うことができなくなりますのでご注意ください。パラ売りについては、販売方法のご意見として承ります。また、ストックいただいているごみ袋は9月1日以降はご使用いただけませんので、古布やミックスペーパーを出していただく際にご利用いただきますよう、併せてお願いします。
2 生ごみ処理機への補助について、どのように考えているか？	過去に補助金を出していた期間が10年程ありましたが、現在は中止しております。ごみ減量には生ごみを減らすことも重要ですので、有料化制度開始に併せて前向きに考えていきたいと思っております。
3 袋の色、大きさを各家庭に周知するため、回覧板で見本を回すなどを行い早めに周知していただきたい。大きさが判断できないとどのごみ袋を購入すればよいか迷う。買って試すことは値段も高く不効率だと思う。また、一般家庭向けにもパラ売りを検討して欲しい。	新しいごみ袋は、まだ仕様が決定しておりません。仕様が決定次第、早めに周知させていただきます。ご意見ありがとうございます。
4 令和5年9月1日からきちっと袋が変わるということで、余った袋は他で使うようにということであるが、2週間などの猶予を設ければ袋は使い切れると考える。猶予はないのか。	新しい袋は令和5年7月から開始し、約2カ月間は新旧両方の袋を販売するので7月から新しい袋をお使いいただくこともできます。9月以降に猶予を設けるかということについては、ご意見として承ります。
5 グラフの読み方ですが、人口が2.7%減っている。ごみの総量も同じ程度減っているの、ごみは減っているのではないか。また、1人1日あたりのごみ排出量のグラフについては、矢印が右肩上がり誇張してあるが、そこまで増加していないのでは？	市民の皆さんが出されるごみ量は、グラフのオレンジの部分の家庭系の部分となります。ごみ量の合計としては減っておりますが、家庭系ごみだけでみると増えている状況です。また、グラフの見せ方については、ご意見として承ります。
6 ごみ減量目標が令和5年度36,000tとある。目標が達成できないから有料化ということがあると思うが、目標が達成できれば有料化は終了だと思う。Q&Aで段階的な引き上げはないといっているが、手数料を30円に設定して目標を達成できなければ増額するというものもあるのではない。達成した後の目標はどうなるのか？減らすのが目標のはずなのに、お金を取ることが目標になっているように聞こえる。周りの自治体がやっているから一緒にやらなくてはいけないように感じる。今後、手数料金額がどんどん上がるのではないかと心配である。	ごみの減量化をする際には分別が大切になりますが、分別の種類と周知が必要となります。有料化の導入に向け住民の意識を高めるための手数料金額を検討したところ、10円、20円ではなく、50円で課金する形が意識を高めるためにひとつの目安となっております。各自治体と足並みを揃えるということではないが、住民の皆様にご意識付けをするためには50円が十分だと思ひ設定しました。一気に値段を上げてごみ減量が達成できれば、そんなに上げる必要はないのでは、というところはご意見として承ります。

7	<p>行政として成果目標を何年度にどこまでもっていきたいのか、ということが最終ゴールとしてあって、1枚いくりにするかはツールではない。市民に説明するときには、成果目標を示してここを協力して欲しい、と言わないと、ただお金をが欲しいだけに聞こえる。</p>	<p>H26に、H35までにごみ量を約15%減らす目標を立てました。この数字は、毎年調査して分別を徹底することで15%減らせる状況にあったためです。行政も様々な形で啓発を実施し、令和元年度には説明会も実施しましたが、なかなか効果がありませんでした。愛知県内だけではなく、全国の実績も参考にしており、手数料を50～60円に設定すると有料化1年目で15%程度、5年目でも16.8%ごみ減量の効果があるということが分かっており、他の自治体の状況も参考に50円に設定しております。年々ごみを取り巻く環境も変わっているので、令和5年度に15%減を達成すればよいかということはそうではないと考えております。今後の目標については令和5年度に策定する予定であり、現時点ではまだわかりません。</p>
8	<p>1枚50円は大きい。尾張旭や名古屋は分別のおかげで年々ごみが減っており、値上げしなくてすんでいる。他の自治体のまねをして値上げをするということではなく、プラなどの分別をどうすればごみが減るかということ調べてまねして欲しいと思う。</p>	<p>まず分別収集につきましては、プラスチックの分別収集を令和4年秋ごろから実施することを考えております。その他分別につきましては、ご意見として承ります。</p>
9	<p>ごみの排出量増加については、この2年間はコロナの影響があると思う。この2年の状況だけでごみが増えたというのは早急ではないか。もし有料化をすとして、ごみが減っていけば値下げをして欲しいというのが要望。市民の努力があってごみが減っているので、値下げはして欲しい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
10	<p>高齢者、子供、障がい者への施策は実施していただくことはもちろんだが、他の予算で実施し、手数料収入はごみの削減、リユースに使ってもらう。ごみに特化して使って欲しい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
11	<p>庭の剪定を実施すると、多いときは15袋程度ごみが出る。剪定のごみについては、もう少し安く出せるような方法を考えて欲しい。高い袋に入れて出すと費用がかなり掛かる。</p>	<p>今は縛って出してくださいというお願いをしており、有料化実施後も袋に入らないことは変わらないと思っているので縛って出してもらうことになると思いますが、それをいくりにするのか、は難しいところ。枝を払ったものも有料化の対象にすることを考えておりますので、例えばひとくくりで縦、横どのくらいでいくらになると思いますが、値段は今後検討をさせていただくことになりますので、ご意見として承ります。また、剪定した枝や草の堆肥化については、現状では実施が難しいですが、引き続き検討して参ります。</p>
12	<p>パブリックコメントを実施して、有料化は反対だという意見がたくさんあれば実施しないということはあるのか。高齢者や年金生活者の生活は苦しくなるが、審議会などでそのような意見は出なかったのか。有料化のメリットだけでなくデメリットを考えたか？不法投棄が増えるなど。</p>	<p>不法投棄については、当然懸念はしており、パトロールの強化や監視カメラでの抑止を考えております。不法投棄が増えるとご心配ではないかと思いますが、有料化することでごみの意識が高まり、そこまで不法投棄が増えることはないのではないかと考えています。</p>
13	<p>処理費の中に晴丘センターの処理費も含まれているのか。尾張旭市、長久手市と分担して費用を負担していると思うが、3市が協働して動いているのか。</p>	<p>有料化については、3市が協働して動いているわけではありません。晴丘での焼却費用などは、3市の負担金は人口割で払っており、有料化とは連動しているわけではなく、他市も一緒に有料化するものではありません。瀬戸市は令和5年の9月からですが、長久手市はすでに有料化をしており、令和5年7月に値上げを検討中、尾張旭は有料化は実施していないということです。</p>

14	尾張旭市のような先行事例を参考にし、そちらを先に実施していただきたい。剪定枝については、東三河では、チップ化、堆肥化を行っており、堆肥は市民に還元している。例えば地域の公園に集積して資源化を行うなどを検討しては？市はPRのみで実効的なものが無かったと思う。実効的な施策を実施してごみが減らなければ有料化にして欲しい。手数料はごみのことに限定して使って欲しい。消費税と同じことにならないよう、目的税化して欲しい。	有料化につながらないように、民間との連携なども含めて検討して欲しいというご意見として頂戴します。また手数料の用途について、一般会計でなんでも使えるような形にならないようにして欲しいということで、ご意見として承ります。
15	瀬戸市は分別をしていないことが理由でごみが増えているのではないかと、まずは市が分別を増やしてそれでもごみが減らないのであれば有料化をして欲しい。回覧板を回すなどは見ない人もいるし、自分も年に1回見るくらい。例えば公園や学校で案内などを行うべき。	ご意見として承ります。
16	ごみの分別表は高齢者に分かりやすくして欲しい。見やすさ、わかりやすさを工夫し、それでも分かりにくい人には説明もして欲しい。	ご意見として承ります。
17	なぜこういうことになったのか、瀬戸は袋は黄色とピンクだけなんでも黄色に入れてある。中には燃えないものも入っている。指導してこなかった市に責任があるのでは。ダメなものはダメと指導しないと。一気にお金を上げるのではなく、指導する期間を経てから有料化するのではあれば仕方ない。今までのやり方が甘すぎると思っている。納得できない。	ご意見として承ります。
18	ごみが少ないところと比較したのか。分別しているところ、していないところを含めて検証を行ったのか、数値の根拠がないと理解できない。一律にグラフにするのは無理があると思う。	他の市町村でもごみ減量の施策として有料化を行っています。有料化は経済的な負担を伴うため、意識付けの方法として効果的であり、有料化を実施しているところが多いです。いきなり有料化ということですが、市ではできる限りの啓発を経ての有料化ということで考えています。
19	啓発は市民に伝わっていない。市役所は市民の目線に立って考えて実施したが伝わっている人が少ない。	ご意見として承ります。
20	有料化と分別の効果について、効果が曖昧ではないか。分別をすることでいったん効果を判別して、効果を検証した上で有料化を検討してもよいのではないかと。	瀬戸のごみは、合計で30%程は減らせるのではないかと考えており、内訳としては、紙類の分別徹底などの資源化で10%、新しく実施するプラの分別で10%、残りは発生抑制となる食品ロスが10%になると考えられます。資料にお示した自治体の事例をみますと、美浜や南知多は有料化と同時にプラの分別を実施しており、同じく30%程度の減量となっております。
21	企業・市民が家庭へ持ち帰り容器を減らすという努力を行って、ごみ量が減ったとしても値上げをするのか。もう少し検討しても良いのか、改めて考えて欲しい。	分別を行えば当然ごみは減ると思います。企業とタイアップするなど減量の要素はあり、有料化より分別、収集をして燃やすごみを減らすことが先ではないかと、ということをご意見として承ります。
22	ごみを減らすことが目標であれば、当然減れば有料化は必要ないということ。2年間でごみが減れば有料化しないというのが当然ではないかと。	これまで行政として呼びかけを実施してもごみは減らなかったため、有料化の計画(案)の策定に至っております。

23	<p>事業目標の全体像を出して、今日はここを説明します、という話をしないと分からない。意識付けをしたいから有料化をしたいという話しないと分からない。瀬戸市は高齢化率が高い。モチベーションを変えたいのであれば、ごみ分別もする、金額も少し上げる、みんなで実施しようということではないと分からない。お金でインセンティブを吊り上げたいのであれば、50円である必要はない。</p>	<p>他の市町を参考にするというのではなく、瀬戸市は瀬戸市のやり方と何を取り組むべきかを説明して、最後に有料化では、というところのご意見として承ります。</p>
24	<p>ごみ袋の中には、プラスチックが嵩として半分くらいあるのではないかと。それを先に回収してもらえれば、ごみも減るのではないかと。減量率を見てそれでもダメなら有料化を実施で遅くないではないか。他の市と比べると何でも燃えるごみで驚いた、プラスチックごみは別で回収している。豊田市でも10枚200円くらい。意識を付けないと値段が高くなるということにならないのか。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
25	<p>新聞、ダンボール、雑誌は縛って出しているが、紐もごみになる。豊田市は一つの大きな袋に順番に並べていれており、縛る手間がかからない。縛るのが面倒で燃やしていた方も減るのでは。リサイクルの方法の工夫が必要だと思う。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
26	<p>モデル地区を何か所か作って、ごみ減量の取り組みと効果を検証してみようというのを提案する。モデル地区は連区ごと。競争させることで意識が上がるのではないかと。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
27	<p>晴丘の処理場は10年間の延命措置後更新ということがある。3市で按分しても瀬戸市が負担する費用が大きいので、手数料の一部を当てたらどうか。また、県から広域化の提案が出ているが、その後、検討が一切進んでいないように見える。広域化を進めてもらい知多半島を見習って次の大きいお金がかかる話にも力を入れて欲しい。</p>	<p>広域化については、昨年度広域化計画を策定しております。すぐの広域化は難しいということで次々期の更新での広域化を考えており、愛知県にも報告済みとなります。慌てることが無いよう、事務を進めていきます。</p>
28	<p>有料化実施までに中間報告や説明会をお願いします。</p>	<p>来年度にも説明会を実施する予定です。</p>

新郷連区 新郷地域交流センター
日時 令和3年11月6日(土) 午後7時～8時20分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 ごみの収集日に袋に入れずダンボールにごみを入れて出す人がいる。収集されないものだと思ったが、収集された。今から出し方の徹底をしていかないと、有料化後も古い袋で出されていたものも収集されたら有料化の意味がなくなる。	今でもルールが守られていないものは、収集不可シールを貼って対応している。収集業者にもルールを徹底するよう指導していく。
2 地域で100枚から150枚ほど、行事で燃えるごみ袋を使っているの、少しでも安くなると助かる。	景品等に使用するものは、有料化後は見送っていただきたい。処理費用の負担になるので、自治会が市民の処理費用を負担することになる。また、ごみ減量のための施策なので、ごみを増やすことがないようにしていただきたい。
3 晴丘の焼却場の設備が老朽化に伴い、ダウンしてしまうのではないかと聞いた。設備更新は行ったのか。	晴丘センターの炉は老朽化に伴い、延命化工事が今年度中で完了する予定となっており、約10年使用できることになる。また、10年後には新たな施設を建て替える必要があり、同じ大きさの炉を作ることになると、多額の費用がかかるため、3市ですできるだけごみを減らしていきたい。
4 人口が減少すると、燃えるごみも同じように減っていくのではと感じる。県内でも大口町や幸田町とでは、人口や地域性も異なるので、尾張旭市、長久手市と比較したほうが良いのではないか。	尾張旭市、長久手市は県内のベスト10に位置している。長久手市は、令和5年7月から本市と同じように大の袋を1枚50円に値上げすることで進めている。尾張旭市は、すでに有料化の検討をしており、現段階では有料化はしないことが決まっていると聞いている。
5 剪定枝や布団に袋を貼りつけるとなっていたが、ルールや袋の大きさを決めないと、いろいろな出し方をされごみ置場がぐちゃぐちゃになる。新郷連区では、道路沿いにごみ置場があるところが多く、他の地域からごみが持ち込まれ、側溝などにごみが落ちてしまっている状況も見受けられる。	今は、剪定枝や布団は袋に入れず出せることになっているが、晴丘センターで処理するのは他のごみと同じであるため、有料化の対象とすることを考えている。ルールや出し方は、皆様の意見をお聞きしながら決めていきたい。他地域から持ち込まれるごみについては、まずは係にご相談ください。すぐに解決できるかはわからないが、まずはお話を聞かせてください。
6 不法投棄のパトロールを行っているが、コロナ禍で今は思うようにできないが環境課と一緒にパトロールを行っていきたい。有料化については仕方がないと思うが、ルールや出し方は今後決めていってくれば良い。クリーン活動を行っている、地元が頑張っている、他所からくるごみが多いので何とかしないとイケない。	有料化を実施すると不法投棄が増えるのではという声がある中、監視カメラの設置やパトロールの強化を行っていくが、有料化を実施している市町村に聞いた話では、有料化実施後に不法投棄が増えたとは聞いていない。先ほど、お話ししていただいたとおり、パトロール等に関しては地域の皆様と一緒に活動していきたいと思っております。
7 長久手市、尾張旭市は県内でもごみ量が少なく、瀬戸市のごみが多いということに対して、行政としての分析はしているか。	2市と異なるところは、プラスチックの分別収集が挙げられる。瀬戸市は燃えるごみの中プラスチックがに10%程度入っていることが大きな違いである。そのため、プラスチックの分別収集を有料化実施の1年前から始める予定としており、現在45リットルのごみ袋を使用している場合、有料化実施後は30リットルの袋に移行できるのではないかと考えている。

8	ごみ袋の値段が100円から500円になるのは、市民の負担が大きい。行政は有料化の前に分別や出し方を考えて、市民の負担になる前に他の姿勢を見せるべきだ。人口が減って、ごみが増えているのは何故なのかを考えるべきだ。	有料化に踏み切ったのは、今に始まったことではございません。基本計画内にある施策であり、平成30年度に環境衛生審議会に対し有料化について諮問をした。そこで、令和元年に各地域で説明会を行ったり、マスメディアを使って啓発を行ってきた。その結果や組成調査の結果も鑑みて、審議会から有料化の導入に向けた答申をいただいた。
9	収入の使い道で福祉施策とあるが、どのように活用するのか考えて試算はしているのか。	ごみが減って処理費用が浮いた分を福祉施策に活用できればと考えており、いくら使用できるという話はありません。
10	葉や枝を出す機会が多いので、こういったものを受け取ってくれるところはないのか。	燃えるごみではなく、資源化できないか検討していく必要があるが、堆肥化やチップ化し資源化できるようにしていきたいと考えています。他の市町村にも状況を聞きながら、できるだけ速やかに進めていきたい。晴丘センターでかかる処理費用と同じくらいの金額で資源化できる場所を見つけられるよう取り組んでいきたい。
11	剪定枝などを豊田市の緑の生活センターなどで受入れできないか。	費用対効果も含めて検討していきます。
12	プラスチックを分別することによりごみが減るとあったが、実際にやってみたことがある。そしたら、ものすごくごみが減った。さらにミックスペーパーなども分別して、どこまでごみが減れば有料化を導入しなくて良いなどの検討はしたのか。また、ごみを減らす目安はあるのか。	まず、有料化については令和5年度から実施する方向で考えている。有料化実施後は、実施状況を環境衛生審議会や市民に報告をし、見直しを行っていく。1年ですぐに有料化をやめるものではなく、概ね5年ごと、基本計画の見直しと合わせて見直ししていきます。
13	有料化を実施して、ごみがどれくらい減るのか試算はあるのか。	市のホームページに掲載するなどして、報告していくようにします。
14	手数料の用途が福祉施策であると、ごみ減量の本来の目的と違うのではないか。有料化制度を見直すとき、福祉施策の金額が膨れあがっていたら、目的が違うという話になるのでは。	手数料の用途の表現の仕方については配慮が足りなかったが、ごみ処理費用の有料化についてのチラシの裏面Q&Aに記載している内容が、本来伝えなかったことになっています。

菱野連区 幡山公民館

日時 令和3年11月7日(日) 午後7時～8時20分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 ミックスペーパーとは、どういったものか。	新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パックなどを除いた紙類のことです。今日お配りしているチラシもミックスペーパーとして出せます。雑紙として回収していたものと違う点は、金属やビニールがついたものも回収できるようになっている。
2 子ども会で集めた段ボールや新聞紙を分けて出しているが、それとは別で市の収集に分別をして出すのか。	子ども会で集めているものはおそらく売り払いができるものかと思われる。ミックスペーパーは子ども会で集めるものから対象外となっていると思われる。市の収集ではミックスペーパーも集めているので、月2回の紙類の収集で出していきたい。組成調査をするとミックスペーパーが燃えるごみの中に多く含まれていることがわかってるので、ごみの減量と資源化のためにも、ミックスペーパーを分けて出していきたい。
3 枝にも袋を貼りつけて出すということだが、量とか出し方は変わるのか。どのくらいの量に対して、1枚貼りつけることになるのか。	剪定枝も他の燃えるごみと同じように晴丘センターに搬入し処理をしているため、処理費用をご負担いただくことを考えている。出し方については、皆様のご意見をいただきたい。今の出し方の1m以内の長さについては変えないが、どれくらいの量に対して袋を貼りつけるかは決まっていない。また、資源回収品目の拡大について、剪定枝なども資源化できないか検討をしている。晴丘センターに搬入しているごみをできるだけ減らす取り組みをしていきたいと考えている。
4 袋1枚が10円くらいから50円になる根拠は。経済的にも厳しい状況がある中で5倍の金額になる根拠を教えてください。	全国の実施状況の統計を参考にし、有料化実施の5年後に概ね2割のごみを減量したいと考えており、効果的で継続的にごみを減らせる金額として、50円に設定している。愛知県内で実施している市町村や長久手市も令和5年7月から50円に金額を変更予定と聞いており、そういった状況を基に決めている。
5 今日のポイントはごみの減量化であると思う。減量化と3、4年言われ続けていると思うが、その結果どうなったかお伺いしたい。	今までの取り組みとして、ミックスペーパーや食品ロスなどの啓発に力を入れ、テレビや広報、チラシのポスティングなど行ってきたが、実際のごみ量としては、目立った効果はなかった。啓発の内容については、環境衛生審議会に報告をしながら進めてきました。その結果から、有料化の導入について早期に図られたいとご意見をいただいた。
6 プラスチックの分別収集を来年度からやる予定としている中で、名古屋市では、すでに実施している。我が家のごみはプラスチック類がほとんどである。また、紙類も分けて出している。有料化をして、これ以上何を減らすのか。生ごみも土に還すなどして、減らす努力をしている人はいる。もっと啓発をして、分別徹底をすることでごみは減ると思う。有料化をする前にやることあるのではないか。	分別をすでに行っており資源になるものを燃えるごみから抜いていただいている方がみえるのも存じ上げている。令和5年9月から有料化を予定しているが、その1年前からプラスチック製容器包装の回収を始める予定としているので、有料化実施後は資源物としてミックスペーパーやプラスチック製容器包装を燃えるごみから抜いていただいた状態で、有料化した袋に入れていただきたい。そうすることで、45リットルの袋に入れていた人も30リットルの袋に移行できるのではないかと考えている。
7 プラスチックの回収をやってから有料化するべきではないか。	プラスチックの分別収集を行って、その結果をもって有料化を導入すべきというご意見もありますが、燃えるごみの中にはすでに資源化できるものとして、ミックスペーパーなど紙類やペットボトルなどが含まれていることが組成調査の結果から確認できている。これらを資源化してもらい、ごみを減らすためにも有料化の実施を考えており、実施と併せてプラスチックの分別収集をすることで、さらにごみを減らしたいと考えている。

8	<p>有料化をして得た収入を他の施策に使うのではなく、税金を下げれば良いのではないかと。他の施策に使う必要はないのではないかと。</p>	<p>有料化の目的は市の財源を賄うものではなく、あくまでごみを減らし資源化を促進するためのものであり、税金を下げるということにはつながりません。また、有料化で得た収入はごみの処理に使います。今までごみ処理をすべて税金で賄っていたものが、ごみが減り浮くのであれば他の施策にも活用できるのではないかと考えています。</p>
9	<p>ごみの減量が市民の家計の負担を増やすことになる。北丘最終処分場の整備拡大の費用や晴丘センターの維持管理に必要な費用がどれだけ必要なのかを考えると、有料化に賛成ではないが、将来の子どもたちにつけまわさないようにするためには、ごみを減らす必要があると考える。晴丘センターの改修に必要な金額も市で負担していくことになり、その費用の財源を賄うためのものであると説明したほうが良いのでは。こういったことも伝えていくべきだと思う。ミックスペーパーやプラスチック製容器包装を分別すればごみは減ると思うが、それを処理するのも費用がかかる。その処理費用の財源を確保するという意味合いでも、市民の皆さんにも協力、理解していただいて、少しでもごみが減ると良い。ごみ全体を処理する費用がかかっていることを理解していただく必要がある。</p>	<p>おっしゃっていただいたとおり、プラスチック製容器包装を分別して収集し、処理するのにもお金がかかります。先ほど説明した9億6千万円かかっているごみ処理費用に追加でかかることになる。ごみを減らすことで、北丘の最終処分場の延命にもつながる。晴丘センターの延命化工事も行っているが、それでも十数年後には更新が必要で更新工事をする前に、使用する炉をできるだけ小さくしたいと考え、ごみを減らす取り組みを進めていきたい。</p>
10	<p>県内のごみ排出量で瀬戸市が多い理由は何か。</p>	<p>本市のごみが県内で多い理由は、プラスチック製容器包装の分別を行っていないからだと考えられる。県内のほとんどの市町村で分別回収を行っており、それが主な理由かと考えられます。</p>
11	<p>袋のサイズが3つしかないが、20リットルよりもう少し小さいサイズも検討してほしい。</p>	<p>検討させていただきます。</p>
12	<p>ごみ袋に処理手数料を含むということだが、袋が破損していたり使えない袋が混ざっていた場合の対応方法も考えておいてほしい。</p>	<p>ご意見として頂戴いたします。</p>
13	<p>プラスチックが燃えるごみの中に非常に多く含まれているということだが、どうして今まで分別してこなかった理由を説明してほしい。</p>	<p>今までは、費用対効果の問題から、プラスチック製容器包装の回収費用に必要な財源確保ができなかったということもあり、実施してこなかった。ただ、それでもごみを減らしていく必要があるという状況で、有料化で一部費用をいただくこととなりますが、有料化と併せてプラスチック製容器包装の分別収集も実施していきます。</p>
14	<p>プラスチックの分別収集をどうやって行うのか。</p>	<p>これはまだ決定ではないが、今のところ考えている内容は、資源物として集めるため専用の袋を用意したいと考えている。ただ、これは有料化の対象にはいたしません。資源物の紙類の収集日に合わせて収集することを考えています。新たな収集日が増えるのではなく、資源物の分別品目が増えるということを考えている。</p>

15	ごみ処理はすべて税金で行われているということか。	ごみの処理費用はすべて税金で賄われております。粗大ごみは、粗大ごみ処理券を購入していただいておりますので、処理費用の一部をいただいております。
16	処理費用がどれくらいかかるかはわかったが、市が集めている資源物の収入はいくらあるのか。	市で収集している資源物の売り払いの金額は、1千万程度である。

山口連区 山口憩いの家

日時 令和3年11月7日(日) 午前10時～11時20分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 45リットルの袋が1枚50円で割高になっており、容量によって比例するなら45リットルは45円ではないか。ごみ処理にかかる費用は、どの容量の袋でも同じではないか。割高にすることにより、小さい袋を使うようにしてほしいということはわかるが、比例関係でも市民の人が意識してごみを減らすのではないか。	45リットルの袋を1枚50円に設定したのは、できるだけ小さい袋を使っていたら、50円と少し割高の設定をした。来年度から開始を予定しているプラスチックの分別回収とミックスペーパーの分別徹底をしていただければ、30リットルのゴミ袋を使うことになるのではないかと考えている。
2 子どもが出すごみ量と大人が出すごみ量は変わるが、1人1日あたりのごみ量はこういった数字なのか。	ごみの総量から人口で割った数字となっています。
3 長久手市も50円に値上げをすると聞いており、他市と足並みを揃えるということはわかる。ただ、長久手市は不燃ごみは有料化にしないので不燃ごみについては再検討してほしい。有料化をすると不法投棄が増えるのではないか。	有料化を実施している自治体に確認すると、有料化実施後に不法投棄が増えたとは聞いていないが、監視カメラの設置やパトロールの強化をしていきます。
4 有料化の導入により、若者が減るのではないか。経済効果を市全体で考えてほしい。	循環型社会の実現など、環境に対し取り組んでいくことで、若者たちにこの環境を引き継いでいく必要があるため、ごみ減量をする必要であると考えている。
5 市の余剰地の草刈りを地域で行っている。そのごみの処理はどう考えているのか。市をきれいにするために、ごみの減量が必要だが、県や市の伸びきっている草や木はどう考えているのか。	ボランティア清掃は有料化の対象外として考えている。地域清掃専用の袋は市で提供させていただく。収集については、直営や委託業者で行っているため、対応方法はいろいろ検討できるが、原則は先に申し出てください。
6 年金で暮らしている市民にとっては、ゴミ袋が10枚500円になることが一番気になる。段階的に金額を上げられないのは、継続的にごみを減らしたいとはあるが、再度考えてもらえないのか。	有料化は全国の約6割の市町村ですでに実施しており、統計資料を基に金額の設定をしています。5年後に約20%ごみ減量を見込んでいます。金額を安く設定すると、一時的にごみ減るかもしれないが、すぐにリバウンドすることが懸念される。効果的にごみを減らすことができる金額として50円の設定をした。
7 長久手市は有料化で値上げをするという話があるが、尾張旭市はどうか。	3市の状況については、尾張旭市は平成29年に有料化の検討をしたが、ごみ減っているということで、有料化の実施は見送ったと聞いている。長久手市はすでに有料化を実施しており、令和5年7月から1枚50円にする予定である。県内のごみ排出量の表を見てもわかる通り、長久手市と尾張旭市は上位にいますので、本市も同じところまでごみの排出量を減らしたいと考えています。
8 原価が上がるかもしれないが、今のゴミ袋は弱いので分厚くしてほしい。	袋の仕様は皆様のご意見をちょうだいして決めたい。取っ手を付けてほしいなどの意見もいただいています。厚みに関しては、コストを鑑みて決めていきたい。
9 シュレッダーはどう処理すれば良いか。	紙の繊維がずたずたになってしまうので、今は燃えるごみと収集しています。資源リサイクルセンターに持ち込まれているものは、資源化をしています。

10	<p>瀬戸市のごみ処理費用の財源がなくなったから有料化するというのではないということではよろしいか。ごみを減らすことは必要なことだと思うが、市にお金が入るだけでは、手数料収入で得られたお金が何に使われるのか。プラスの動機づけになるようにしっかり考えてほしい。草や木が庭にある人は時期によっては、すごい量をだすことになる。これを処理するのも手数料がかかるのも仕方がないと思えるような手数料収入の使い道を考えてほしい。</p>	<p>財源を補うためではなく、循環型社会の実現や地球温暖化の防止のためにごみの減量が必要であり、効果的、継続的にごみを減らすために有料化の実施に向けて検討している。手数料で得られたお金は、新しいごみ袋やプラスチック製容器包装の分別収集に使用していくが、それでも余剰分の手数料収入があれば使い方にについて明らかにしていきます。また、環境衛生審議会に対し有料化の実施状況の報告と制度内容の見直しをすることになっており、市民の皆様に対してもきちんと説明を行ってまいります。</p>
11	<p>1人1日あたりのごみ排出量が平成27年度から平成28年度で大幅に減っているように見えるが、どういった理由か。</p>	<p>大きな要因は挙げられないが、ごみの総排出量がそもそも減っていることと発生抑制と資源物分別徹底がされたと考えている。</p>
12	<p>1人1日あたりのごみ排出量が少ない大口町と幸田町は有料化を実施しているのか。</p>	<p>各市とも有料化を実施している。幸田町は長年、県内で最もごみ量が少ない状況が続いていることから、今年度から10枚150円に下げたと聞いている。下げたことにより、住民の意識が変わったのかごみが増えたと聞いている。</p>
13	<p>手数料の使い道を福祉施策に活用と書いてあるが、手数料収入のうち何%くらい使うことを予定しているのか。</p>	<p>基本的には、手数料はごみの袋や収集・処理等に活用します。ごみが減って処理費用に使うお金が減れば、ごみ処理に使っていた税金を福祉の施策に使うことができるということでご理解いただきたい。</p>
14	<p>プラスチック収集は燃えるごみの集積所で収集をするのか。他市では燃えるごみや資源物などそれぞれ袋の色を分けているところもある。</p>	<p>収集については、資源物の収集日に合わせて収集をしたいと考えている。また、資源物専用の手数料を含まない袋を設けて、分別して出していただくことを考えています。</p>
15	<p>過剰包装など、企業側にもごみ減量の要望をしてほしい。</p>	<p>ご要望としてご意見承ります。</p>

下品野連区 下品野地域交流センター
日時 令和3年11月8日(月) 午後7時～8時10分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 ごみ減量を目的とするならば、有料化の前にやるべきことがあるのではないかと。一人一日あたりのごみ量のグラフを見ると平成27年から平成28年で減っているのですが、これはなぜ減ったのかを分析すればできることがあるのではないかと。有料化ありきではないと思う。	プラスチック製容器包装や食品ロス、ミックスペーパーなどが燃えるごみの中に多く含まれておりますので、まだ燃えるごみを減らすことができると考えています。行政の啓発について、何をやっているのかわかりづらいというご意見はいただいておりますが、ごみを減らすために有料化を実施したいと考えています。
2 有料化実施市町村で田原市は1.3%しか減っていない。これは実質減っていないのと同じではないかと。	田原市は、22.5円に設定し有料化をしたものの1.3%しか減っていないということですが、今まで使用していたごみ袋から料金が上がるということで、皆様が使用する袋のサイズを小さくしようとする考え方があります。ただ、料金設定に関して他の市町村と比べて高くないので、そういった考え方が起こらなかったことが考えられます。
3 プラスチック製容器包装の分別収集を始めれば、ごみは減るのではないかと。	プラスチック製容器包装の分別をすることは、市民に対して負担がかかることになる。プラスチック製容器包装のリサイクルは、サーマルリサイクルということで燃料に変わることになり、晴丘センターで燃やすのと何が違うのかといった考え方もあり、瀬戸市では今まで分別収集を行ってこなかったが、環境省からプラスチックに関する法律が変わり、燃やすのではなくリサイクルを進めるように示された。
4 有料化をすれば不法投棄が増えるのではないかと。	地域性もあるので不法投棄が多い少ないといった地域があるかと思いますが、それぞれに対し対応方法も検討していきます。
5 ごみ袋1枚50円の根拠はあるか。1枚50円になっても買ってくるものが今までとおりであればごみは減らないのではないかと。買ってくるものも減らさないといけない。また、50円がさらに高くなる可能性はあるのか。	ごみの出し方を変えていただかないとごみを減らすことはできないと考えています。50円の根拠は、有料化実施市町村を参考に設定しています。今のままのごみ量であれば、50円の設定になるが、ごみが減れば40円でも良いのか30円でも良いのかという話になる。田原市のように22.5円の設定になると、ごみ減量の効果が低いということがわかっているため、市が目指す減量率を考えて50円に設定しています。
6 資源リサイクルセンターのような施設が他の場所にもあるべきではないかと。設置の検討はしているのか。	各地域に同じような施設を設置できるように検討していきたいが、お約束はできません。ただ、資源物を分けて出すことを行いやすいようにしていきたいと考えています。SDG'sの中にも資源の有効活用があるように、資源物を出しやすくすることを考えていきます。
7 ごみ袋に業者の宣伝を入れて多少でも袋の値段を安くできないかと。	袋の仕様は、色や形状についてもまだ決まっていないので、ご意見として承ります。
8 燃えないごみはなぜ有料化の対象なのか。	燃えないごみも晴丘センターに搬入して処理しているのは燃えるごみと同じように費用がかかっているため、燃えるごみと同様に有料化の対象として考えています。

9	<p>有料化は致し方がないという気はしている。ごみの減量のためにというのはわかるが、それに対する理由、結論付けがわかりづらい。環境衛生審議会の議事録を見たが、尾張旭市はごみ減量の実現できているので、有料化はしないと決めたとあったがなぜごみ減量ができているか理由がわからない。プラスチックを分別したらごみがどのくらい減るのか。なぜ、処理費用の負担が必要なのか具体的な理由を聞かせてください。</p>	<p>組成調査の結果から、生ごみが32%、食品ロスが6%、資源化できる紙類が12%、プラスチック類が16%、その他のものが26%です。10年間の処理基本計画を策定する際に、ごみの組成から新しい施策として何を進めるのか考えていきます。分別の徹底がまだできていないということで、計画の中で目標数値をたてていますが、目標ややるべきことを明確にしてほしいというご意見は他でもいただいております。有料化について興味を持っていただき、いかにごみを減らしていくかと考えていただくことで、有料化の意味があるかと思えます。説明会にお越しいただいている人に対しても、どのように伝えていくかを検討していきます。</p>
10	<p>袋の値段設定について、45リットルの袋が50円だと、30リットル30円の袋と20リットル20円の袋を2枚で50円になるので、2枚使って出すと5リットル余分に出せることになる。大きい袋は高い金額を設定して、小さい袋を使うように促したいのはわかるが、生活者としては安くお得に使えることを考えるので、あまり説得力がない。</p>	<p>金額だけを見てしまうと、そういった考え方もできるが、ごみを減らすために、2枚使うのではなく小さいサイズ1枚で出していただくようお願いしたい。</p>
11	<p>晴丘センターで焼却する際の熱エネルギーを有効に使えないか。また、生ごみを燃やすのではなくたい肥化したり、メタンガスの有効利用など、他の施策と合わせて実施してほしい。一般家庭でもコンポストなどを使って処理しているので、晴丘センターのような処理施設でも、ただ処理をするだけでなく、有効活用してほしい。</p>	<p>晴丘センターで燃えるごみとして搬入されたものはすべて燃やしているが、蒸気を有価として売却しています。また、燃えないごみはすべて燃やしているわけではなく、有価物は分別して売り払いも行っています。本市にも一般廃棄物の堆肥化、資源化できる施設があればすぐにでも始められることではあるが、堆肥にしたものの需要がないと始められないことでもあります。特に草木など排出量が多いものを市民の皆様が出しやすく、資源化するための施設は必要だと考えております。すぐにできるものではないが、こういった意見があることは承らせていただきます。</p>
12	<p>ごみ袋の値段が上がればごみが減るのであれば、一層のことで1枚100円にしてごみをゼロにしたらいのではないか。いかにごみを少なくして、瀬戸市をきれいな街にすることが一番の課題である。それで、ごみの量が減れば一番良いことである。また、瀬戸市のごみ処理にはいくら費用がかかっているのか。有料化で得た収入は何に使っていくのか。</p>	<p>本市のごみ処理にかかる経費は9億6千万程かかっており、有料化を実施して3億円ほど歳入があることを見込んでいます。得たお金は、ごみ処理に使うほか、ごみを出しやすくするためやカラスによる散乱防止対策などのごみに関することに使うことを検討しています。</p>
13	<p>行政の説明会は大体やることが決まったうえで説明していると思ってしまふ。有料化について、ごみをたくさん出す人には罰金を与えるように聞こえてしまう。ごみを減らすためのアイデアは他にもあるはずで、有料化をする前にもっと減量努力をしてから、有料化に踏み切れないか。</p>	<p>環境課といたしましては、ミックスペーパーの分別など啓発の仕方も変えて、いろいろな施策を行ってまいりました。有料化についても2年前の説明会でもお話をさせていただいております。今回は、有料化の案として、皆様のご意見をいただく機会を設けさせていただいた。有料化したら終わりではなく、ごみが減ったら手数料の金額を安くするのか、ごみが減らなかったら高くするのか、皆様にご協力をいただきながら検討を進めていくことになる。</p>

14	<p>市内でモニターを100人とか、1,000人とか市民から募り、年間で1日あたりのごみ量を10g減らすよう実験をし、検証してみてもどうか。モニターには謝礼を払い、無料ではなく有料で行ってもらうことにする。ひとり一人のごみ減量の努力の仕方はいろいろあるが、やり方を持ち寄って共有し、ごみを減らすことができれば、有料化する必要はないのではないか。有料化を実施するまでに、できることがあるのではないか。</p>	<p>お知恵やアイデアをいただきながら、ごみ減量に向けて進めていきたいと思います。</p>
15	<p>収入の使い道について、高齢者の介護をしていると大量におむつや汚物を拭くものなど使用するため、ごみが多く出る。有料化になり、ごみ袋の値段が高くなるとその人やその家族への負担が増え、介護放棄にもつながるのでないか。赤ちゃんは一時的なものかもしれないが、高齢者や障がい者は違ってくる。おむつなどを出す専用の袋を無料とは言わないが、1枚5円とかで販売するなどして減らすことができないごみに対して配慮していただきたい。</p>	<p>ふれあい収集という高齢者や障がい者等の個別収集事業を行っており、400人程度の方にご登録をいただいておりますが、それだけでは対応できていない人もいます。専用の袋を用意すべきなのか、ふれあい収集の体制を見直すべきなのか、検討をしていきます。</p>

効範連区 効範公民館

日時 令和3年11月11日(木) 午後7時～8時

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 500円の金額の根拠は、段階的な値上げはどうしてしないのか。300円くらいからスタートしても良いのではないですか。10枚で500円になると、生活必需品としては値段が高くないか。	価格の設定については、他自治体の有料化実施に伴うごみ減量状況がわかる統計データを参考にし、本市の減量目標に見合い、確実に効果が出る価格の設定をいたしました。基本的に、有料化を導入してすぐに価格を変えるという事は考えていません。ただ、毎年、市民の皆様には有料化の実施の成果やごみ処理の状況を報告し、一般廃棄物基本計画の見直しを5年ごとに行う中で、それに合わせて制度の見直しを行っていきます。50円の価格設定は、まだ案ではあるが効果的に、また継続してごみを減らすことができる金額として設定させていただきました。
2 プラスチック製容器包装の回収は専用の袋ができるのか。	燃えるごみの組成調査を行っているが、食品トレイ、弁当の容器、プラスチック製の包装など、プラスチック製容器包装が多く含まれています。晴丘センターを使用している尾張旭市、長久手市は分別して収集しております。瀬戸市も来年の秋ごろから、新しい袋を用意し資源物として、収集していることを予定しています。プラスチック製容器包装の分別収集を開始し、1年後には有料化を実施し、できるだけごみが減った状態で有料化後の指定袋を使っただけを考えています。
3 無料でごみ袋を配布している市町村もありますが、その状況について聞いていますか。	県内で2市が無料配布していることは確認しています。配布にあたり多くの財源が必要であり、他の多くの自治体では行っていないことを確認しています。
4 手数料収入の一部を利用すると書いてありますが、すべてを使うわけではないのですか。	1年でごみ処理に使う費用として9億6千万円かかっており、その内、粗大ごみの処理手数料をいただいている以外はすべて税金で賄っております。有料化に伴う手数料は3億円程度になることを見込んでおり、処理費用の一部にしか充てられないという状況です。今まで税金ですべて賄っている処理費用に対し、処理手数料収入の一部を使うことで、他のサービスに使うことも考えられます。製造と流通のコストを抜いた金額が手数料収入になるが、これはごみに関することに使っていきたいと考えています。
5 今、ごみ袋を120円から130円で購入しています。一気に500円になると4倍近くの金額になるが、年金が主な収入源となっている高齢者には負担が大きく、とても容認できない。有料化実施には賛成だけれども、価格については納得ができない。他の市町村を参考にするのは良いが、瀬戸市は瀬戸市の金額として、考えてほしい。投票を行って決めたらどういう結果が出ると思うのか。市議会で決定するのもかもしれないが、ある日突然決まりましたでは、困ります。	45リットルの袋を週2回出している人が、そのままの状態でごみを出すと4倍の金額になるかと思いますが、プラスチック製容器包装やミックスペーパーを徹底的に分別し、できるだけ小さい袋を使用させていただきたい。30リットルや20リットルの袋を使用することで費用負担を減らしていただきたい。自分自身も分別してみたが、燃えるごみの中から分別を徹底することで、30リットルの袋にすることが確認できた。

6	低所得者や生活保護の人も同じ費用負担をすることを、どう考えているのか。まずは、今の倍の金額にし様子を見て、5年後減っていなかったら上げることはできないか。	あくまでも有料化はごみの減量のための取り組みであって、大きいごみ袋から小さい袋に切り替えられるようごみを減らすことで、費用負担は軽減されるはずで。ごみ減量の取り組みを市民皆様で行っていただくようお願いをさせていただいております。生活弱者の支援については、ごみのこととは別に、福祉サービスとの調整の中で解決していく問題と捉え、協議していきます。
7	家庭系ごみは重量ベースではなく、体積でみたら減っているのではないかと。令和2年度については、コロナの影響で家庭にいる時間が長くなり、ごみが増えたのではないかと。事業系のごみは、外食をする機会が減り、ごみが減っている。確実にごみが減ってきているのではないかと。	ごみの量は重量で計算をしています。組成調査を毎年行っており、市民の皆様が出されたごみの中身を確認しますと、資源化できる紙類やミックスペーパー、ペットボトル、また、来年度から資源物として収集を予定しているプラスチック製容器包装がまだたくさん入っております。こういったものが、燃えるごみの中に含まれている状況で、ごみはなかなか減っておりません。
8	総合計画で「住みたいまちせと」となっているが、瀬戸市と尾張旭市の市民サービスが全然違う。住みにくいまちせとを目指しているのではないかと。総合計画と矛盾するのではないかと。ごみの減量をやるのであれば、市長の報酬をカットしてからであり、市民サービスだけをカットするのはおかしいのではないかと。	循環型社会の形成と地球温暖化の防止については、総合計画にも記載がある大きな柱であり、ごみ減量のための有料化は、その実現に向けた取り組みであり、総合計画に合ったものだと考えております。報酬等の財政上の話はご意見として承ります。
9	1年2年でごみが削減できなかった場合、撤廃するつもりはあるのか。	有料化の取り組みは、市だけで決めたものではなく、環境衛生審議会での審議を経て答申をいただいたうえで進めているものになりますので、今後、実績の報告に基づいた制度の見直しについては、ご意見を伺いながら決めていくものになります。今、どのようにするのか決められるものではありません。
10	プラスチック製容器包装は収集体制はどういったものになるのですか。	回収については、まだ最終決定はしていませんが、資源物として回収するので、専用の袋に入れて月2回の紙類、古布の収集日に回収することを考えています。
11	燃えないごみを他市のように指定日を設けて収集する計画はありますか。	出し方の仕組みを変える予定はありません。
12	手数料収入はごみに関することに使うということを説明いただいたが、福祉施策に使う予定があれば良いが、ないのであれば目先を変えたような気がする。障がい者、高齢者、そして子どもへの支援施策に活用ということは書いてほしいと思う。	誤解を招く書き方になってしまっているが、今までごみ処理に使っていた費用で他のことに活用することが考えられるということで、何に使うかはっきり決まったものではございませんので、今は案という段階でこのような記載になっておりますが、計画確定の段階で記載を改めたいと考えています。
13	瀬戸市の歳出は1年1人あたり42万円となっている。ごみ処理費用は年間9億かかるということで、費用の負担割合と焼却施設、埋立地の能力を俯瞰的な数値でデータベースを出してほしい。	データについては、できるだけ出せるようにしていきたいと思っています。
14	手数料収入の見込みが3億3千万円だと、10年で33億になるが、この費用をどう使っていくのかプランはあるのか。それによって、有料化賛成か反対を決めたいと思っている。	ご意見として頂戴いたします。

水南連区 水南自治会館

日時 令和3年11月13日(土) 午後7時～8時

ご意見・ご質問事項	市の回答
<p>1 ごみ減量化は基本的には賛成。ごみが少ないと言われている大府市は有料化を実施していないが、どのような方法でごみを減量しているか、ベンチマークされていないと感じる。また、リサイクルが大切になると思うが、他市の状況を把握しているのか。説明では目標値が掲げていないので、どこを目指して良いかわからなかった。また、木の話があったが、葉っぱについては、町民の方が個人で厚意で集めているが、有料化された場合には、それがなくなる。市がすぐに掃除してくれるのか。木はお金を取るのではなく、チップ化してください。</p>	<p>有料化制度の導入にあたり、先進自治体に直接話を聞きにいたり電話での確認等を実施し、先進事例をもとに我々に合った内容を今回ご提案させていただいたということでご理解いただきたいと思います。また、ごみ減量の目標は計画(案)概要版に記載しております。市では、毎年ごみの組成分析をしており、資源化できるミックスペーパーや食品ロス、来年から開始するプラスチック製容器包装の資源化を行うことで、目標を越すような減量を目指して有料化に踏み切ったということです。資源に出来るものはできるだけ資源化したいという思いはありますが、木の資源化は費用対効果で晴丘センターでの焼却と同等程度の価格で資源化できるところが現時点では見つかっておりません。また、現在ご厚意で実施いただいている清掃については、有料化の対象外として扱い、ご厚意に応じる方向で進めていけるように仕組みを作っていきたいと思います。</p>
<p>2 袋の値段が上がるのは良いが、袋の種類が少ないと思う。例えば名古屋市では、スーパーでレジ袋として購入できる。また、プラスチック製容器包装はどのように捨てればよいか。</p>	<p>袋の種類については、実際にお使いいただいている方からご意見をいただきたいところです。また、プラスチック製容器包装は、専用袋を作成してそれに入れて資源としてお出しいただくことを検討しています。新しく作る袋は手数料の対象にはなりません。収集は、月2回、紙の日に一緒に集めさせていただくことを検討しています。</p>
<p>3 有料化を実施した他の市町村では、不法投棄は増えていないのか。</p>	<p>本日お越しいただいた皆様は、袋が高くなったからと言って不法投棄されるようなことはないと思います。また、先行自治体の例から言いますと、有料化実施によって新たな不法投棄事案が増えたことはない聞いております。</p>
<p>4 手数料の用途については、計画(案)の内容では不十分だと感じる。市は手数料として入る金額が1億円を越す。500円という金額では低所得者には非常に厳しい。手数料収入で袋を無料で配布するなどの提案が必要なのは。例えば、学校に生ごみ処理機を置くなど。また、こういった集会に皆さんが参加できるような状態を作って欲しい。</p>	<p>手数料収入については、説明でも申しました通り、全体でおよそ3億円程度を見込んでおりますが、収集運搬や新しい袋の製造、流通コストに使ったり、新しく資源化するプラスチック製容器包装の分別収集、処理にも収入と同程度の金額がかかってくるということをご理解いただきたいと思います。</p>
<p>5 有料化とは、考え方としては受益者負担主義として受け取って良いか。また、直近10年間の実績で資料に掲載されているところは、人口がすべて瀬戸市より少ないが、本市でも成功するのか。聞いたところによると、南知多では家庭ごみを農業、漁業のごみとして扱っている部分があるようなので、瀬戸市にあてはめられるのか心配である。また、有料化は市民への押し付けに感じる。レジ袋を有料化してもごみが減っていない状況もあり、ごみ袋代節約のためにコンビニの袋を使う人も出てきそう。ごみ袋代には消費税はかかるのか。</p>	<p>ごみを出す人がごみ処理費用の一部を負担する、という考え方からいうと受益者が負担するという解釈になるかと思えます。小さい自治体の事例はご意見として承りますが、有料化制度については、全国的にもごみ減量の成果があることを確認しております。また袋代の500円は手数料としていただくので、消費税を載せることは考えておりません。</p>

6	<p>有料化によってごみを減らすということだが、ごみを減らすことについては賛成だが、方法はそれしかないのか。名古屋市では生ごみを処理するのに生ごみ処理機を使っていた。容量が少なくなり、においも90%くらいなくなるので、ごみをためてだすことができる。他にもごみを減らせる方法もあると思うので、市民に聞いてうまくいかなければ有料化もひとつの方法かと思う。</p>	<p>生ごみを出す際は、最後に水分を絞っていただければ、それだけでごみ量を減らすことができますので、皆さんもぜひ実施していただきたいと思います。また、先行する自治体でも生ごみ処理機の補助金への要望があったという話も聞いておりますので、有料化制度を進める中で検討していきたいと思います。</p>
7	<p>ごみ削減の目標値が令和5年度とあるが、有料化制度実施後の削減率はどのようになっているのか。20年後、30年後もごみ処理は進めていくと思うので、子供への教育として進めていってはどうか。布団や枝に袋をつける出し方は安易ではないか。</p>	<p>目標については、瀬戸市一般廃棄物処理基本計画という10年計画で定めており、平成25年度に令和5年度の目標値を決めました。この計画の中には、有料化制度の実施やプラスチック製容器包装の分別については盛り込まれています。計画は10年単位で策定するものですので、有料化の取り組みを加味して次の計画を作っていく、その中で今後10年の目標を作っていくことになると思います。また、有料化制度の導入にあたりましては、地域にきめ細かく説明させていただく機会が必要になると思いますので、今から説明を行っております。その中で、教育機関と連携して進めていくことも検討して参ります。布団、枝については、ご意見としてお聞かせいただきます。今は処理費用はいただいておりますので、何らかの方法で処理費用をいただかなくてはいけないと考えております。</p>
8	<p>今回の有料化の件で、一番ネックとなっているのは晴丘の焼却場の問題か、それ以外か、どちらか。</p>	<p>資源循環型社会、地球温暖化防止が大きなところではございますが、瀬戸市のごみは晴丘センターで焼却、北丘で埋め立てておりますので、それらをできれば延命したいということもあります。また、晴丘センターの焼却場は10年後には建て替えが必要となりますので、その際に焼却炉を小さくするためにはごみを減らさないといけないということもあります。</p>
9	<p>尾張旭市、長久手市とは連携されているのか。</p>	<p>尾張旭市は、説明会の資料にもありますように、ごみ量が愛知県内でも少ないので、有料化制度の導入を検討し見送りとなっています。また、長久手市はすでに有料化を実施しており、令和5年7月より手数料を500円に値上げすることを検討されていると聞いております。</p>
10	<p>庭木の枝を出すときに、家庭ごみは別の日に収集してもらえないか。チップ化などの有効利用ができるのではないか。庭木は緑化にも非常に重要だと考えているので、ぜひ検討して欲しい。(有料化対象外で)</p>	<p>別日の回収は簡単には難しいと思いますが、資源化については、引き続き検討を行って参ります。</p>

水野連区対象 水野地域交流センター
日時 令和3年11月14日(日) 午後7時～8時20分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 瀬戸市の有料化実施計画(案)では、ここ5年の主な施策はミックスペーパーを追加しただけのように思うが、なぜプラスチックの分別を早期に実施しなかったのか教えてほしい。春日井市では実施しており、平均より多いのは当たり前。実施していないのは市役所の怠慢。実施してからの有料化ではないか。	プラスチックの分別については、国でも6月に法制化をされました。組成調査でもプラスチックがたくさん入っていることは分かっておりましたが、分別まで至らなかったのは瀬戸市の体制が整わなかった背景があります。分別して再生までの経費を考えると、晴丘センターでの原材料にしていたところもあり、今まで取り組めなかったのは、予算上の問題や皆様にプラ分別の促しの体制ができていなかったことがありますので、これからはしっかり取り組んでいきます。先に取り組むべきものが、ミックスペーパーの分別で紙類を取り除くという順位で実施してきました。
2 市がお金を取りたいだけではないとQ&Aではあるが、今回ごみ減量や資源化促進の施策に使うと書いてあるが、なぜ充当を考えているのか理解できない。また、ごみ処理と関係ないことに使うと書いてあるのも納得できない。	目的はごみの減量、資源化を推進することです。ごみ袋に課金するということですが、皆さんからは120円程度が500円になるとのご意見をいただきますが、ごみ袋を高くすることで今以上に分別収集に取り組んでいただき燃やすごみに資源を入れないで欲しい。罰則規定に見えらるともとれますが、取り組んでもらうと大袋を中袋にすることができますので、ご理解いただいて協力して欲しいという気持ちから有料化計画(案)を作成しました。
3 この意見を集約した結論はどうなるのか、住民投票も考えているのか教えて欲しい。	環境衛生審議会の中で有料化に向けて進めていくという答申を3月にいただきましたが、その2年前から検討しており、まずは分別徹底の周知に取り組んできました。先ほど説明した通り、まだ資源が燃えるごみに入っている状況があり、他市町の状況を参考に分別に取り組んでもらうための案を作りました。有料化により他市町で一定の効果が得られており、金額は別として、理解をいただくとともに分別収集を実施していただきたいと思えます。プラスチックの分別は令和4年度中に実施する考えであります。今まで取り組んでいませんでしたが、有料化の前に取り組んでいく考えです。住民投票は想定しておりません。
4 今の説明は納得できない。プラスチックを大袋に入れることには疑問があつて市に聞いたが、燃える袋に入れた方が燃焼効果が良いと言われてきた。納得できない。手数料は3億円を見込むとあり、子ども、障がい者、高齢者支援施策に使うと記載があるが、こういっことを書くのであれば、それぞれいくらずつ使うか明記すべき。地域としてのごみは有料化と別ということだが、毎朝ボランティアでごみを集めている。缶と瓶に仕分けるのは嫌だ。それに加えてプラスチックまで分けるというのであれば、拾うのもやめようと思う。ボランティアでの清掃が周りに広がらつある。このようなことを市がやるべきではないのか。市の怠慢と言わざるを得ない。衛生委員の活躍の場がないので集まってくださいと言われたが、カラスやごみの対応を実施しているので、不謹慎な書き方ではなかったかと一言いいたい。	プラスチックを焼却炉に入れて燃やすという話は以前聞いたことはありますが、新しい炉も近い将来限界がくることとなります。焼却炉の延命のためにも今一度ごみを減らすことを念頭に、これからは皆さんにきちんと分別していただけるように一緒に取り組みたい。財源は一般会計に入るので、支援施策に活用することができると書きましたが、9億6千万円の費用が掛かる中で、手数料収入が3億円程度が入るという状況があり、福祉まで回せるというように言い切れませんので、分かりにくい記載であったと思っており、あくまでも環境に関する事に使用していきたいと思えます。(地域に配布した後でそのような話はおかしくないか)将来的に削減が可能であれば、その他の予算に回せるのではないかと考えています。(この表現があれば納得しやすいのではないか、というだまではないか)衛生委員の仕事については、身近なところでごみを拾っていただくということで市も十分承知し感謝しております。
5 今の質問に対して、Q&Aが誤りだということだが、本日参加できなかった人に対して訂正はしてもらえるのか。	今ここに書いてあることに対して、皆様から意見をいただいておりますので、ここは表現が不適切ということで消しますが、今後実施計画の内容を変更してきますので、このように変えたという形で公表します。

6	説明の中で意見を言えるのが、説明会とパブリックコメントということであったが、そういった形だと有体にしか思えない。	有料化の導入に向けた検討をしており、皆様からの意見をまとめて実施計画を策定します。最終的には市議会で諮ることであり、これが決まるかどうかは今年度3月まで分からないという状況です。市では環境衛生審議会からの答申に従って、ごみ減量のための有料化に向けた実施計画(案)を作ったところです。併せて予算の方も令和4年の3月議会をもって予算が通るかということになりますので、今のところ有料化導入に向けて進めているということです。
7	田んぼと畑で農業をされており、燃えるごみが週に6袋出ます。単純計算で300円。燃やすと消防署が来るので、燃やすのをやめた。ゴミ袋が値上げになると、水野地区、幡山地区、品野地区は剪定したごみが多く、田舎の郡部に対する施策はどうか、聞かせて欲しい。	野焼きと捉えられて消防が来るということになると思うが、草木が多い地域だと思うので、草木をどのような形で出すかというところは、袋をつけて出すという説明をしました。どのくらいの量でいくら相当というところはまだ決まっていないので、草木についてはいくらにするというところは、意見をもらって決めていくものとなります。
8	布団と絨毯も束ねて出しているが、45リットルの袋に入らない。その場合はいくらの負担になるのか？布団が複数の枚数ある場合にはどうするのか、そこを聞きたい。	当然、布団や絨毯もどの大きさでいくらの袋をつけていただくのか、現在は何ら決まっておきませんが、有料化の対象になるということでご理解いただきたいです。大きさ、値段については、皆様にご意見をいただきたいところとなりますので、よろしくお願いします。
9	市営住宅の隣に広場があるが、月2回ほど住民全員で草刈りを実施しており、1回で20袋位使うこととなる。これも地域清掃のごみになると思う。集会所の周りも草刈りを年2回実施している。これらも50袋位使っている。こういったものについては有料化後の関係の対策はどうか。	地域清掃ということであれば、申請をもらったものは除外するという話をしましたが、住民が協力して実施する清掃についても地域清掃のごみとして取り扱うのかどうかをご意見を参考に検討いたします。
10	減らしたくても減らせないものもある。庭木の剪定したごみは減らせない。緑化推進のために出るごみは有料化の対象外としてほしい。紙おむつも同様で、減らしたくても減らせられるものではない。それに分別も難しい。	他の地域説明会でも同様のご意見を聞いております。ご意見として承ります。
11	燃やせるごみを減らすということで、瀬戸市はプラスチックを集めるとのことだが、すでに長久手市と尾張旭市ではプラスチックが集められている。瀬戸市は人口が多く仕方ないかもしれないが、有料化より先行してプラスチックの分別によりごみがどのように減っていくのかよく検証して、市民に伝えてほしい。ミックスペーパーが分別できなかった理由が何であったのか。有料化の導入にあわせて、資源化するものに羽毛布団が挙げられた。プラスチックのおもちゃはどうするのかとか、どこまで分別したらよいのかなど、もっと市民に分かりやすく伝えてほしい。	ごみ分別については、事前に市民の皆様へ分かりやすく案内をする予定としております。ご意見として承ります。

12	<p>環境衛生審議会の構成はどのようなものか。資料を説明されたが、瀬戸市は海あいではなく山あいである。組成調査からみて燃えるごみに資源物が多く入っていること。連合自治会の意見を吸い上げたのか。どのような費用対効果で出された予測なのか。農業をやるうえでどうか、地域をよくみて考えるべきだ。回覧だけして終わりとか、説明が足りない、調査が足りない状態だったら、ごみの有料化は白紙にすべきだと思う。</p>	<p>環境衛生審議会は学識経験者、自治連合会、ごみ減量推進会議、商工会議所、公募市民の8人で構成されています。詳しい資料にて審議している。他はご意見として承ります。</p>
13	<p>外国籍の住民にごみ有料化の説明することが必要である。ベトナム、韓国など外国人がたくさんいるので、事業所に出向いてごみ有料化の説明をしてほしい。</p>	<p>必要性は感じております。ご意見として承ります。</p>
14	<p>パブリックコメントは何ですか。何のためにするのですか。ごみの分別だけさせられて、説明会で意見を聞いておしまいですか。住民から意見を聞いて、今後、市は回答をするのか。会議は開く予定はあるのか。</p>	<p>回答の方法は今後検討する。簡単ではあるが、広報紙、市ホームページなどでの回答になると思う。自治会を通じて回答することになるかもしれない。</p>

本地連区 本地会館

日時 令和3年11月18日(木) 午後7時30分～8時40分

ご意見・ご質問事項	市の回答
<p>1 有料化するとごみが減ると書いてあるが、ごみ袋が高いからどうやって自分でごみを処理しようか、ということになると思う。一戸建ての人は自分のところでごみを燃やすと思う。ごみは燃やしてはいけないとあるが、ごみ袋が高いと自分で処理したいと思う。令和4年度のプラスチック容器包装の収集はもっと前倒してやるべき。説明資料に分別していない資源物があると書いてあるが、田んぼで燃やしても良いか。50円の根拠もよく分からない。他の市が50円だから50円というようにしか見えず、納得できない。こうだと言われれば負担しなくてはと思うが、現在9億6千万円かけて処理できているので、そのままで良いと思う。手数料として入る3億円が税金から減るのか、年金暮らしの人でも税金を取られており、減るわけではない。コロナで在宅勤務が増えているのだから、ごみは減るわけがない。有料化したから減るわけではない。ごみを減らす工夫をするから減る。生ごみを土に戻すこと、バイオマスだったかを斡旋して欲しい。マンションに住んでいる人は特に必要。紙の分別については、A4サイズの紙が入る袋を用意して欲しい。地域力が運営している資源ステーションも、紙袋に入れて出して良いのか。出し方を皆に伝えないと分からない。</p>	<p>他の地域でも生ごみ処理機への補助が出ないのか、といったご意見をいただいております。過去に補助を実施していたこともあるが、需要がなく中止しています。ごみを減らす観点からすると、補助金制度の復活なども必要だと思っています。生ごみの水分が多く絞って出していただく方法もありますが、補助金制度は考えていく必要がありますと感じています。</p> <p>手数料収入の分、税金を減らせないかということについては、ごみが減量できれば9億6千万円から減らすことができる見込みとなっております。ごみ減量が進めば手数料収入も減りますし、かかる費用も減ります。1枚相当50円が妥当かどうかにつきましては、大袋の処理費が140円から150円かかっていますので、3分の1程度のご負担をということで設定していますが、いろいろご意見もいただいております。実施計画を作るまでに検討していきます。</p> <p>今、燃えるごみの中に燃やさなくても良いごみが2割ほど含まれており、毎年、組成調査を実施しておりますが、紙類がまだまだたくさん入っています。燃やさなくても良いものを取り除けば減量ができます。今はプラスチックも燃えるごみとしておりますが、令和4年秋ごろから分別して資源にできる予定としております。これまでは紙類(ミックスペーパー)の分別を優先して実施しており、レシートも再生できる品目です。すべて除いていただき資源物の日にお出しいただくようお願いしていきます。その後、有料化を実施することを考えております。</p> <p>ミックスペーパーは紙袋にまとめていただければ回収できます。広報にてこれまでも周知してきましたが、今後はより一層実施してまいります。</p>
<p>2 瀬戸は集積所までごみを持って行かないと回収しない。年を取るとごみ出しが苦痛。もっと集積所の間隔を狭くしてさらに集積所を作って欲しい。坊金は広い土地がないので、地主にお金を払って許可をいただいてごみ出し場としている。市が集積所を設定すれば良い。実際には町内会に入っていない人はどこに出しているのか、わかるように公表して欲しい。町内会に任せっぱなしは困る。</p>	<p>集積所は、10世帯に1ヶ所を目安に設置していただいております。ごみ置場も地域性があると思います。畑だった場所が家に建て替わって新しい方が住み始めると、調整がうまくいかず大変だということがあるのかと思います。この場でこうします、ということが難しいのですが、ご意見として承ります。基本的には、ごみ置場は置場をご利用いただく皆様でどのように管理をするか、話し合っ決めていただいております。</p>

3	<p>説明資料を見ると、有料化して減量効果がある市町の6割は、50円に上げてごみが多い。近隣の尾張旭、長久手は低い。瀬戸は裕福でごみをたくさん出すということではない。分別について瀬戸市は全く関わっていないのに、それを今さら値上げします、はおかしい。尾張旭、長久手、日進、春日井のように、もっと前から分別を始めていればごみが減っていた。値上げよりも先に分別してみて、ごみが減らなければ値上げすることではないかと思う。今日使った資料も紙でごみになる。考えていることとやっていることがごみの考え方と異なるのでは。瀬戸市は陶磁器以外の産業がない。税金が少ない。お金もない。市民にお願いして良い街にしようという考え方がなければ、家でごみを燃やすことになる。街の中と市街化調整区域の考え方は違う。名古屋市は分別をしっかりとおり、ごみ量も少ない。有料化する前に分別を徹底しなければごみは減らない。名古屋市では自治会のごみ出しの人がいて、分別指導をしている。瀬戸市も各自治会にお願いしてやりましょうということでも話を持っていけば、ごみは減ると思う。名古屋市は資源物が入っているごみは収集しない。管理社会でやらないとごみは減らない。50円でごみが減ることは確かにあると思うが、根本的には減らない。瀬戸市のごみが多いのは、分別していないのでごみが減らないことにある。50円は税抜きなのか。現在の袋だって消費税がかかっているの、市に税が入っている。</p>	<p>資料のごみ排出量は令和元年の実績であり、ご指摘いただいた市町は令和3年から有料化を実施しているので、資料の数字よりもごみ量は減ると思われます。有料化後の袋代50円は税込みの価格となります。消費税はいったん国にはいって交付税という形で自治体ごとに分配されています。有料化の前に分別を行うべきだ、というご意見としていただきます。</p>
4	<p>プラの回収はどのようにするのか。他の自治体は徹底している。瀬戸はプラも燃やせたので分別が楽だった。有料化をするのであれば、プラももっと早く分別を開始すべき。尾張旭は実施していた。なぜ瀬戸は分別をやらずに、尾張旭はやっていたのか。</p>	<p>令和4年度に開始することを考えております。毎年、ごみ袋の中身を組成調査しておりますが、尾張旭、長久手と組成調査の違いはありません。瀬戸のごみからプラスチック製容器包装をすべて抜いたとしても、それでも他の市よりもごみ量が多い状況です。これまで、瀬戸市はまずはプラスチックより多く含まれる紙類にターゲットを絞って分別の啓発を実施してきました。現在の分別ルールを守っていただければごみを2割減らせる余地がありましたので、プラスチックの分別よりも先に紙の分別徹底を呼びかけてきました。</p>
5	<p>紙を分別して欲しいのであれば、紙類専用の袋を作ってはどうか。</p>	<p>資源共通袋を作っている市町もありますので、ご意見として頂戴します。</p>
6	<p>都市部は下水が整備されている。下水処理でごみの量が異なることはないか。マンションでは粉碎する機械があり、そのまま下水に流れている気がする。瀬戸市の下水は街の中しかない。この地域は浄化槽しかなく浄化槽は金がかかる。</p>	<p>生ごみを出す際は、最後に水分を絞っていただければそれだけでごみの重量を減らすことができますので、皆さんもぜひ実施していただきたいと思います。また、先行する自治体でも生ごみ処理機の補助金制度への要望があったと聞いておりますので、有料化制度の導入を進める中で検討していきたいと思います。</p>

7	<p>ごみを焼却場で燃やすときに紙がある程度混ざっていないと燃焼が悪く、焼却しやすいようにわざと紙を入れていると聞いた。生ごみの水を絞るのは難しい。</p>	<p>紙がなくても、ごみは焼却炉で燃やすことはできますが、生ごみの水分を切っていないと燃焼の温度が下がるなど燃えにくいことはあると思います。燃やすために燃えるものを入れるという考え方もありますが、資源物は分別していただきたい。わざと混ぜている、という話は間違いではないかと思えます。水はぎゅっと絞る程度でも効果がありますので、暮らしの知恵のようなものをまとめて市ホームページで公開したいと考えています。</p>
8	<p>コンポストのバケツを使ったことがあるが、虫が湧いて気持ちが悪くてやめた。生ごみ処理の方法を教えてください。</p>	<p>生ごみをどういう処理をすれば良いか、市側から方法を提供して欲しいということで、ご意見ありがとうございます。</p>
9	<p>経済が回ればごみが増えるので、減らすのは無理。瀬戸だけ有料化せず、長久手、尾張旭が有料化しないと、ごみは他市へ行くだけ。尾張旭との市境であり、安ければそちらへ持って行く。法人事業系のごみが一般のごみとして出されている。紙が多いのは個人より法人で10～20袋出されている。夜間に出される。それを野放しにしてごみの中に紙が多いというのは市の怠慢だ。</p>	<p>事業者のごみ排出に対して指導し、事業系ごみは収集しないということで指導していきます。</p>
10	<p>見ていると他の地域からごみを持ち込まれている。どうしようもない。瀬戸の分別が楽だから持ってくる。役所は9時から仕事をしていて良いのか。不法投棄のごみが今でも多いのに、値上げをしたらもっと増える。地域でごみを拾って出しているが、袋の値段が50円になったらどうすれば良いか。高くなれば拾う人も少なくなる。カラスが喜ぶ。ネットももらえない。やれることはやらなくて、義務だけ課されれば住民も怒って当然。どれだけごみが捨てられるか分からないくらい。市職員は地域でごみを拾っているのか。</p>	<p>ご意見としてお伺いします。</p>
11	<p>落ち葉や草については、負担を軽くして欲しい。枯らして袋に入れて出しているが、本当は燃やしたい。紙を混ぜて燃やせば焚き付けになり良いことだと思う。市が緑化を推進してきたこともあり、当然すごい量が出る。乾かして軽くしてから出しているが、何とか負担を軽くして欲しいと思う。今は木の枝は縛って出しており、有料化後はごみ袋を付けて出すことについてどの袋をつければよいか。自然のものは燃やせばよいと思う。</p>	<p>草や木も対象除外とせず袋を付けて出すということについては、出し方、金額を含めてこれから検討していくこととなります。同じご意見が他の地域でもたくさん出ているので、検討してまいります。チップ化など、リサイクルができないかも検討しておりますが、なかなか難しい状況です。負担を軽く、ということでご意見としていただきませう。</p>

12	<p>実際にプラスチックがなければ、燃えないのでは。何%か焚かないと効率が悪く、全部分別できれば負の問題が出てくると聞いている。晴丘センターで発電しており、効率の問題などを市民に説明して欲しい。古いデータを出して説明しないで、公共として全てをオープンにして欲しい。それでできないということであれば有料化でも仕方ないが、ごみ量が多い、少ないだけでは納得できない。中途半端な説明会ならやらなくて良い。値上げしました、と言えば良い。一般的にはそういう考え方。皆さんが苦しんでいるので、あとでごみが地域に増えたらそのごみはどうするのか。市の職員が拾う？それをやってなおかつ減量ができないということであれば、納得できる。あまりにも一方的ではないか。やれることをきちんとやってから言って欲しい。</p>	<p>きちんと根拠のある最新のデータで説明をお願いしたいというご意見、今はどういう状況かも含めて、ということでご意見として頂戴します。市の職員がごみを完全に拾うことは難しいです。ご意見として承ります。</p>
13	<p>魅力のある街で瀬戸市は何番目か。長久手、尾張旭は上位。瀬戸市は更に下。魅力を上げて税収を増やして、ごみ処理費用くらい市がもつてくれるようにして欲しい。瀬戸は渋滞ばかりで名古屋からみると行きたくない市。産業はせとものしかなく、今は藤井聡太で盛り上がっているが、これがなくなったらどうなるのか。デジタルタワーに行っても何も無い。せっかくスペースがあるのに活用していない。そういうことをもっと考えて欲しい。瀬戸に住みたくない。富士山がある静岡に住みたい。瀬戸市も何か作らないと。このままごみ袋を50円にします、と言われるだけの街になると思う。計画案といいながらパンフレットを作って説明会までやるということは、有料化をやるということ。職員の残業手当もついている。そういうことも考えて、分別収集の周知をもっと自治会へ下ろして徹底し、ここまでごみが減れば有料化はやりません、という計画案ではないのか。今はSDGsなど色々なことがあり、他の地域はもっと取り組んでいると思う。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
14	<p>集まった意見は検討するのか。市長以下全員、市全体でごみ処理費用の問題に取り組まないと意味がない。間違いのないものが出てくると思っているのか。ちゃんと検討をして欲しい。</p>	<p>住民の意見をまとめて計画にこのように反映します、というように今後公表します。当然のことながら市議会議員も住民の意見を見て、議会の中でも審議されるものと思います。</p>

八幡台連区 八幡台地域交流館

日時 令和3年11月22日(月)第1回 午後6時30分～7時30分 第2回 午後7時30分～8時30分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 資源物を資源リサイクルセンターに持ち込んだ場合でも、有料化ですか。	資源リサイクルセンターに持ち込む場合の資源物については、今までどおりです。
2 布団や剪定枝に袋を貼り付けて出す場合、付けたものが盗まれることは考えていますか。	盗まれてしまう心配があるので、袋をつけるのが良いのかシールを付けるのが良いのか、皆様からご意見をいただきながら、出し方を決めていきたいと考えています。また、袋に入れて出していただくことであったり、粗大ごみとしての取り扱いになることも考えられます。今は案として、袋を貼り付けるということにしております。
3 地域清掃ごみが有料化の対象外だが、今までとは別の袋ができるのか。	有料化の袋とは別で地域清掃用の袋を市で用意します。今のものから仕様が変わることも考えられます。
4 現在のごみ袋は10枚で販売されているので、有料化実施後に残ったものについては、等価交換できるように検討していただきたい。	ご意見としていただきます。
5 手数料収入の用途に、障がい者や高齢者、子どもへの支援施策の活用と書いてあると、ごみの処理費用として手数料収入あったものが別のところで使われてしまうのではないかと考えてしまうが、何か考え方があれば教えていただきたいです。	まずは、ごみ処理に関する費用に使うこととなります。ごみが削減できた場合は、今までごみ処理に使っていたお金を他の施策にも使えるやもしれないということを書いております。今のごみ処理費用の中には、一人暮らしのお年寄りや高齢者で介護が必要な世帯に対し、ふれあい収集を行っております。今、何かすぐに新しい支援施策へ使うわけではなく、今現在行っているふれあい収集のような支援施策についても、使えるかもしれないということを書いております。
6 不法投棄について、今でもごみ袋の中に処理できないものを出す人がいる中で有料化を実施すると、透明の袋や古い袋で出されるものが増えるのではないかと。市としてはどういった対応をしていくのか。マナーを守らないという問題かもしれないが、ずっと置場に放置されている状態が続いているところもある。	有料化の実施に伴い、マナーを守らないごみが出てくることも想定されます。現状、そういったごみを自治会で片付けていただいていることも存じております。具体策としてお伝えできることはまだないが、自治会や地域住民と相談しながら今後の対策を進めていきたいと考えています。また、有料化実施市町村で不法投棄が増えたとは聞いていないです。粗大ごみの有料化のときも大量の不法投棄が出たが、地域の皆様と一緒に頑張って対応してきた。有料化で得た収入をこういった対策にも使えるようにし、自治会と協働で進めていきたいと考えています。
7 収集車や収集員によって、燃えるごみには入れてはいけないものを入れてあるごみ袋が収集されたりとルールを徹底していただきたい。	ご意見としていただきます。委託業者によって差が出ないように徹底して参ります。
8 団地の不法投棄は自治会の責任で仕分けするのか。市で片付けることはできないのか。燃えるごみの袋にも名前を書いて出すことにすれば、出した人が責任をもって片付けることができるのではないのでしょうか。	収集できないものが袋に入っていた場合は、収集不可であることを示して、原則ごみを出した人に持ち帰っていただくようにしています。。名前を書いて出すことについては、ご意見として頂戴いたします。

9	地域清掃で出た汚れたペットボトルは燃えるごみにして良いのか。洗って資源物として出すべきなのでしょうか。	ペットボトルは大切な資源であるが、きれいな状態でないとリサイクルをすることができません。ただ、清掃をしていただいている中で分別をする際に、ペットボトルを燃えるごみに入れることは抵抗があるかと思っておりますので、汚れたペットボトルとして分けて集めていただければと思います。地域清掃を行う際の疑問点を明確にできるように、参考意見として頂戴いたします。
10	資源物を24時間体制で持ち込みができる場所を確保しているところもあると聞いていますが、資源リサイクルセンターは開館時間に行かないと持ち込みができない。ペットボトルは集会所に持ち込めるが、今後24時間体制で持ち込むことができるようになる予定はありますか。民間で紙類を回収しているところであるので、民間で行っていくのか。分別が進めば資源物が増えていくことになるので、この先の体制はどう考えているのか。	民間が設置している資源物の回収ステーションもありますが、地域が主体となって回収ステーションを設けている場所もあります。資源分別の徹底をしていくと出す場所も必要かと思っておりますので、出し場所についても検討を進めていきます。プラスチック製容器包装の資源回収を来年度秋ごろから始めたいと考えていますが、収集方法や収集体制が決まり次第、ご案内していきます。
11	大口町や幸田町は420gで瀬戸市との差があるのはなぜか。	大口町は、堆肥化に力を入れており、リサイクル工場が近くにあるということで、コンポストなども積極的に行っています。食べ残しやキャベツの葉っぱなどを肥料やたい肥にしています。剪定枝などもごみとして集めるのではなく資源化できるようにするなど、いろいろな施策をうっています。瀬戸市は、燃えるごみ袋の中に資源化できるものがまだ含まれているので、45リットルのごみ袋から30リットルにすることができると考えています。また、ごみの減量に協力をいただけていないのが現状です。
12	分別などの仕組みが整ってないと市民ができないのではないかと。	本市では、ごみの組成調査を毎年行っております。その結果から、分別ができていないごみがあることがわかっています。その対策を、皆様のご意見をいただきながら進めているところになります。
13	1人1日あたりのごみ量のグラフを見ても、差は1%くらいの範囲内のことなので、ごみが増えているとは言えないが、ごみを減らすことは必要だと思う。ただ、有料化をしても、またすぐに増えることも考えられるので、同じことの繰り返しにはならないか。	燃えるごみにたくさん含まれている資源物を取り除いていただき、燃えるごみを減らすという意識を高めていただくことで、リバウンドは考えにくいと思っています。有料化を実施している市町村に聞いたところ、リバウンドはしておらず、市民の意識が高まり資源物の分別が徹底され、大きい袋を使っていた人も中サイズの袋を使うようになり、行動が変わったと聞いています。ごみ出しの分別ルールを守らない人は負担が増えますが、資源物をリサイクルしていくことで、ごみが減れば焼却施設の延命にもつながります。
14	手数料の収入について、ごみ以外の福祉に使うのはおかしい。ごみ減量のための手数料であれば、処理施設に使うなど、ごみ以外に使うのは筋違いではないのか。	ごみ処理費用の中には、一人暮らしの高齢者や障がいをお持ちの人で決められたごみ置場まで持って行かれない人に対し、ふれあい収集という制度があります。ごみが減ることで、ごみに使っていた費用で支援施策にも活用できるのではないかとということで記載させていただきました。福祉施策に直接使うといったものではございません。
15	名古屋市の燃えるごみ袋の値段はいくらなのか。	10枚で180円くらいになっており、有料化はしていません。
16	ごみ分別辞書について、外国人対応はできるのか。きちんと分別ができるようなものをお願いしたい。	現在は4か国語は対応できるものを用意しております。どこの国の人が多いだとか、地域ごとに異なってきますので対応できるように検討いたします。

17	不法投棄の対応はどう考えているのか。未然に防ぐ手を考えてほしい。	有料化実施に伴いまして、不法投棄が増えるのではないかとご心配になるかと思いますが、今現在も、収集業者からの連絡に対して、職員が現場に出向き対応しております。地域ごとに状況は異なると思いますが、対応方法につきまして検討していきます。
18	有料化に併せ実施する施策①と②を行うと、ごみは減ると思う。収集運搬費用が4億円かかっているが、現在の週2回の収集が週1回の収集になるといくらになるのか。	ごみの量、収集車両の台数や収集回数によって、費用は異なるのですぐに数字は出せませんので、ご意見として承ります。
19	晴丘センターを3市合同で使用しているかと思うが、長久手市と尾張旭市のごみ袋の値段はいくらになるのか。	長久手市は、10枚の価格でLサイズ150円で、Sサイズは100円です。また、長久手市はすでに有料化を実施しています。尾張旭市は、有料化を実施しておらず、大サイズで140円程度、小サイズになると100円に満たない価格となっています。あと、長久手市は令和5年7月から増額を予定しており、Lサイズ500円、Sサイズ300円で検討しています。
20	スーパーでトレイなどは回収しているが、他のプラスチックは回収用の袋ができるようになりますか。トレイが商品に対し大きすぎたりすることもあるので、スーパーや企業へ働きかけていただけると、ごみは減るのではないのでしょうか。	プラスチックの収集については、どのような袋で回収するかは仕様を検討しています。市から事業者に対し働きかけが必要であると感じています。
21	ごみを燃やす際にダイオキシンが出ないように高温にする必要があるのですが、プラスチックを燃料として燃やすのであれば、分別をしなくても良いのではないかと。リサイクルをするために分別は必要だと思うが、汚くてリサイクルできないものは、燃やしても良いのではないかと。プラスチックや紙を分別収集しても結果燃やしたりしている市町村もあると聞いたので、そうならないようにしていただきたいです。	リサイクルをするためには、きれいなものでないと再生利用にまわすことができませんが、まずは分別をしていただくことが必要となってきます。有料化前にプラスチック製容器包装の収集を開始することを予定していますが、その際には出し方についてもご説明できるようにしていきます。また、ごみの減量がまず第一です。そのためには、燃えるごみに資源物を入れないことが、地球環境にやさしく、限られた資源を有効活用するためにはリサイクルが必要になってきますので、皆様への周知に努めて参りたいと思っております。分別したものを燃やすことがないようにして参ります。
22	分別と有料化が抱き合わせになっている。分別もして、金額も上がることになるが、順番としては分別を先にやってから有料化をできないか。	分別が先で、その結果をみてから有料化を導入するべきではないかという、ご意見として頂戴いたします。
23	プラスチックを分別するための袋は作るのか。分別したものをどう回収するのか具体的に知りたいです。ミックスペーパーなど紙類は、民間や資源リサイクルセンターに持ち込むことができるけど、プラスチックのトレイはスーパー以外で持ち込む場所がない。	プラスチックの分別収集については、案の段階ではありますが資源物の収集日に集めることを考えています。また、地域にあるリサイクルステーションでプラスチックの回収をしている場所があればご利用いただきたいです。身近な場所のリサイクルステーションについても、市からも働きかけをし回収ができるように検討していきます。
24	名古屋市から瀬戸市に引っ越してきた際に、プラスチックの袋がなく、燃えるごみの袋に入れれば良いと聞いて驚いた。プラスチックの袋があると分けやすいと思う。	出し方出し場所など、決まり次第事前にご案内させていただきます。

25	親を介護していた経験上、おむつや尿とりパッドなどがたくさん出るようになる。10枚500円になることは、紙おむつがたくさん出る子育て世帯や介護世帯の大きな負担になるのではないかと心配になっています。	紙おむつや尿取りパッドが出る高齢者の介護世帯や紙おむつなどを使用する子育て世帯に対し、現在の案では公平性を確保するために対象外にすることはしていません。
26	現状の燃えるごみの袋をたくさん買ってあるが、古布やミックスペーパーを出す以外の使用方法があれば教えていただきたいです。	ごみ出しの考え方でいくと、古布やミックスペーパーを出すときにお使いいただきたいです。

全連区対象 瀬戸市文化センター
日時 令和3年11月24日(水) 午後7時～8時30分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 昨年、町内会の回覧で回ったもので、有料化の費用は晴丘センターの建替費用によるものだと聞いたが、間違った情報ですか。	建設費用には、直接は関係ございません。説明の中にもあった9億6千万円の処理費用は、ごみ収集と焼却処分と埋め立てにかかる経費になっています。手数料の収入については、この処理費用に使っていくものではありません。
2 ごみ減量化について、市民に費用を負担していただくということは、言い方は悪いがペナルティとなっています。ごみ減量に協力し、ごみを減らした場合は、ご褒美のようなポイントをつけるような方策はないのでしょうか。市民への還元を考えてほしい。	今時点では、ポイント制は予定をしております。参考意見としていただきます。
3 手数料収入の用途について、障がい者、高齢者そして子どもへの支援施策の実施に活用とあるが、これはあくまで一例であり、固定されているわけではないですよね。	手数料収入につきましては、ごみの収集と処理に活用させていただきます。結果論にはなりますが、ごみに処理に使っていた費用で様々な施策の実施に活用できるのではと考えています。
4 飴と鞭ではないが、一つの施策として、ポイントとか何か市民に還元されるものと考えていただけるとうまいくのではないかと思いますので、ご検討いただけると幸いです。	ご意見ありがとうございます。
5 ごみ袋代50円の算定は、他の市町村と横並びだが、どういう基準なのか。また、現状はいくらですか。ごみを減らすためではなく、ごみ袋の価格を50円に設定し、3億3千万円の収入見込みがあることありきではないか。負担するのは市民であり、3、4倍くらい値段が上がるが、ごみは4分の1にはなっていないですよね。	今の袋は固定ではなく市場価格となっているが、10枚消費税込みで大体120円から130円となっています。50円の基準ですが、全国で6割の自治体で有料化を実施しており、袋の価格と減量の効果の統計資料を参考にしています。例えば、20円にすると平均で何%の削減効果があるだとか、30円だと、40円だと、といった統計を基に、減量効果として目指す15%から20%減らすためには、50円から60円代で継続的に減量効果があるということで50円に設定しました。さらに、愛知県内の周辺の自治体を鑑みて設定をさせていただきました。また、同じ晴丘センターでごみを処理している長久手市も令和5年7月から同じ価格で検討をしていることも一つの要因ではありますが、あくまで継続的に減量の効果がある価格として設定させていただきました。
6 袋の販売価格が500円になるということは、市民の負担が350円くらい上がることになる。それでも、たった12から13%しかごみが減らない。50円に設定しても常滑市は12.4%しか減っていない。ごみを減らすのが目的だが、12%しか減っていないのに50円に設定するのはどうか。値段が高くなればごみを減らそうと思うが、負担だけさせられて減ってかなければ意味がないのではないか。	袋の価格設定についてご説明させていただきましたが、現在45リットルの袋使用していても、できるだけ30リットルや20リットルの袋を使用していただくために、価格の設定を若干だが45リットルは上げています。例えば、資源物の紙類やミックスペーパー、来年度から実施を計画しておりますプラスチック製容器包装を燃えるごみから除くことで、週2回45リットルの袋で出していたごみを30リットルや20リットルの袋で出していたり、週1回減らすことで、費用負担を軽減することが可能だと計画しております。
7 手数料の収入は、3億3千万円を見込んでいると、市の負担が9億6千万円から6億3千万円になるんですか。	3億3千万円の中には、新たな袋の製造や流通に使用することになるので、そうはなりません。

8	<p>今の処理費用には、袋の製造費用は含まれていないということですか。今の袋代は、どこから負担しているのか。新しい袋を3億3千万円から出すということは、新たに市民に負担をさせるのか。今の袋は有料化ではないと言っていたが、税込から製造していたのではないのか。</p>	<p>今の袋の製造は、処理費用に含まれておりません。袋の製造費や流通にかかるお金を除いた金額が処理手数料となります。</p>
9	<p>新しいごみ袋が令和5年7月から販売予定となっているが、令和5年9月から今の袋が使えなくなるということになると、今の袋がメーカーや店頭から品切れになったらどうするのか。どうやってごみを出すのか。</p>	<p>品切れにならないように管理していきます。過去に消費税増税の際も、ごみ袋が店頭からなくなるということもありましたが、メーカーと対応し克服できるものと考えています。必ずなくなることはないようにいたします。ご心配いただかないように努めます。</p>
10	<p>20連区あるのに、なぜ今回の説明会は14連区しか開かないのか。</p>	<p>説明会を実施するにあたり、各連区に対しご相談をさせていただき、周知や呼びかけのご協力も併せてご依頼させていただきました。新型コロナの状況が非常に厳しいということもあり、一部の連区からは開催を控えるという回答がありましたので、すべての連区で開催することができませんでした。そのため、地元連区で説明会に行けない人へもご説明をさせていただきたく、文化センターで開催をすることや説明会の内容をホームページでも公開し情報提供をさせていただきました。</p>
11	<p>有料化が先にありきという考えで進められているのではないかと感じ不満に思う。お金を上げればごみが減るだろうと単純なことではないだろう。今までごみ減量について、市民に徹底をするために町内に対し説明を行ってきたのか。市民一人ひとりに説明をしていかないと、ミックスペーパーだって何のことだと思っている人がほとんどである。プラスチックの問題も、商品を買うとほとんどがプラスチックである。そういったものを全国から世界からプラスチックをなくしていくことのきっかけを瀬戸市からやっていくとかを考えてから有料化のことを考えるべきではないか。</p>	<p>平成26年からの10年間の基本計画に、すでに有料化もごみ減量の施策として位置付けられていました。また、検討を開始するにあたり、市だけで考えたのではなく環境衛生審議会へ有料化の実施につき諮問をし、2年かかりましたが有料化について早期に実施を図りたいと答申をいただき、有料化の推進に向けて歩みを進めたということになります。プラスチックの製造者の責任もあるが、硬質プラスチックにつきましても資源循環させるべきだと法律が制定されました。プラスチック製容器包装についても、容器包装リサイクル法の中でリサイクルを進めていくこととありますので、メーカーからも再生利用するためのお金が拠出されています。すぐになくなるものではないので、出てきたプラスチックをリサイクルしていくことを進めています。</p>

12	<p>有料化を含めて思うことは、瀬戸市が何かを始めるときに他の市町村がやっているからという説明が多い。120円から130円が500円になるのは相当な負担になると思う。私は週1回しかごみを出さないようにしている。子ども会でミックスペーパーや段ボール、雑誌を月1回集めて、僅かだが子ども会の収入にしています。瀬戸市のやり方は甘いと感じ、分別といっても、きちんと分別されていない。燃えるごみにびんが入っていたりすることもある。尾張旭市と比べると非常に甘いと感じる。尾張旭市では、収集できないものがあれば収集はせず、周りで監視をしている。有料化をして収入の使途に、障がい者、高齢者そして子どもの支援施策に使うようになっており、大事なことだと思うが、これは別として必要なもので予算化するべき。行政の仕事を町内にふることが多い。自治会を巻き込み地域力を推進するためかと思うが、実態はタダで使っているようなもので、委託するならちゃんと委託するべきで、職員を減らすことをしなくても、町内に委託するなら職員でやるべきだと思う。有料化になり500円になることは、非常に高い。県内状況を参考にしているが、他の市町村と財政の状況は違うはずだろう。瀬戸市の税金も高いように感じる。食品ロスの問題でも、実際に取り組んだことはありますか。消費期限が過ぎているものが捨てられているのか、まだ食べられるものがあれば施設に送るルートを作るとか、個々の努力はやっているはずで、パンフレットを見ると近隣の市町村がやっているからと単純な発想では納得がいかない。</p>	<p>収集できないものの対応は今でもやっていますが、今後も徹底して行っていくようにします。手数料の収入は、あくまでもごみの処理に使って参ります。地元自治会への委託の件につきましては、ご意見として承りません。</p>
----	---	---

13	<p>有料化はまだ決まっていなくて書いてあるが、ゴミ袋は買いためするなとか決まっているように感じる。ゴミを減らせというがこのカラーの資料を作っておいて減らせというのはおかしい。1人1日あたりのごみの排出量のグラフが平成28年から平成29年は下がっている。上がったことばかり考えておらず、下がった要因を考えていけば、ゴミは減っていくのではないか。なんで減ったのかを追求しないと意味がないのではないか。</p>	<p>まだ決まっておられませんので、ご承知おきください。買いためについては、消費税が上がった際に買い占められるという事態が起こり、7月に有料化について広報などでお知らせした際も一部袋が市場から減ったということも販売店から聞いたので、あらかじめ買いためがないように注意ということで記載させていただきました。グラフの上がり下がりはありませんが、見た目以上に差は大きくありません。令和5年度の目標を計画で483gにし、ごみの減量施策を進めているところではありますが、現在の実績は565gであり80gくらいの差があります。もっと大幅に減らす必要があるため、有料化の導入について検討しております。ごみの組成についても大きな変化があったものではございません。</p>
14	<p>パンフレットが広報せとに入っているのを見て、自分がゴミをどれくらい出ているか調べてみると、生ゴミがすごい多かった。生ゴミは別で分けて庭に埋めてみました。また、プラスチックゴミが非常に多いことがわかった。プラスチックを分別収集するとどれくらいゴミが減るのか見たい。3分の1くらい減るのではないか。コンポストを使い、自分の家で処理していくと生ゴミが減っていくと思いました。他の市町村でも助成金を出しているところが、少しではあるが尾張旭市でもやっていたので、瀬戸市でもやってほしい。町内会で段ボールのコンポストを作っているところもあると聞いた。小さなことかもしれないが、そういった指導や周知などをやっていくと良いと思います。小さなことでもコツコツやっていると、皆さんの意識が広まっていくと思います。小学校や中学校、高校でもゴミ減量について先生が話したり、子どもたちが大きくなってからの地球環境を守ることに必要なことかと思えます。</p>	<p>以前、瀬戸市でも助成制度はありましたが、申請がなくなってしまったため制度はなくなりました。今後、有料化に併せて必要であれば検討をしていきます。減量方法については、有料化をする場合には、地域に降りて説明していくことを予定しております。</p>
15	<p>長久手市も袋の増額を検討しているとのことだが、尾張旭市はどうなっているのか。</p>	<p>尾張旭市はごみの削減ができているということで、有料化は見送ることとなっています。</p>
16	<p>市役所が熱心に減らしましょうと呼びかけて、それでも減らなければ有料化をすることになるかもしれませんが、私には市の熱意が伝わってきません。</p>	<p>環境衛生審議会にこれまでの取り組みを報告しつつ、審議会からもミックスペーパーや食品ロスの普及、啓発活動の提案があり行ってきましたが、それでも減らないので、有料化を早期に図りたいとお答えをいただきました。</p>

17	<p>堆肥化する補助金を申請がないからといって、なぜやめたのか。一戸建ての人や町内会や自治会などに置いて、生ごみを減らす活動を行ってこなかったのか。生ごみだって堆肥化すれば、ごみが減るではないか。尾張旭市が減った理由を調べて、やればいいではないか。</p>	<p>(ご意見を伺う)</p>
18	<p>瀬戸市に来て驚いたのは、分別が前に住んでいたところと随分違った。もっと分別をすれば良いと思ったが、近所の人が瀬戸市はすべて燃やしているから良いと聞いた。分別がどう進んでいくのか気になっていたら、有料化の話ができたので説明会に来ました。瀬戸市は人口が減っているにも関わらず、一人あたりのごみが増えているとあったが、なぜ減らないのか分析はされましたか。どういう分析をして、どういう取り組みを行ってきたか市民に説明をして、それを守るようにやられたほうが良いのではないかと。組成が変わらなければ、ごみは絶対減るんですよ。なんで増えたのか、減ったのか説明してください。</p>	<p>組成が変わらなくても、量が変わればごみは増えていきます。例えば、ミックスペーパーが減れば、分布は減るはずですが、資源化できる紙類や食品ロスの分布は変わらず、一人あたりの出す量が増えているということです。</p>
19	<p>尾張旭市に住んでいる友人に聞いたところ、プラスチックの分別をしていて瀬戸市より分別が進んでいることがわかりました。同じ晴丘センターを使っているのに、なぜ違うのかと思いました。ミックスペーパーの分別をし、1週間に1回しかごみを出さないようにしています。生ごみも減らすようにしてきました。瀬戸市も早く尾張旭市のように取り組めば、こういうことにはならなかったのではないかと。行政からの動きがないまま、市民に対しごみが減らないとお金がかかる脅しのように聞こえます。私たちが出している税金をきちんと使わないで、またお金を取るのかと思うと腹が立ちます。</p>	<p>(ご意見を伺う)</p>
20	<p>立派なチラシを全戸配布して、あたかも決定したような内容で、皆さん今必死でごみを出しています。令和5年までに市民が努力してごみが減れば、尾張旭市のように有料化はなくなるのでしょうか。</p>	<p>令和5年になくなるとは言えませんが、制度については毎年実績を報告して、一定の期間をもって見直しをする必要があると思っています。</p>
21	<p>誰が有料化をやることを決めることになるんですか。</p>	<p>3月に手数料に関する条例の改正を議会上げて、認められてから実施になりますので、まだ決まったものではありません。</p>

22	<p>全瀬戸市民が説明を聞いているわけではない。こんな少ない数しかいなくて驚いている。水野の説明会に参加できなかったのだから。主婦としては、1枚12円だったものが50円に上がってしまうのかと思うと驚いています。収入の低い人や外国の人が50円を出して買うと思いますか。今でも草むらや山の中にも捨てる人がいっぱいいるのが実状です。高齢者は細かい分別も無理なので、指導が必要。名古屋市は瀬戸市よりも人口が多いのにごみを出す量が少ないということは、ちゃんと分別ができています。それを今からやろうってのは10年くらい遅い。値上げをする前から分別をやっている。高齢化になると、分別もできなくなり、収入も減ってくるのに1枚50円のごみ袋をどうやって買うのか。もっと真剣になって、もっと多くの人が説明会を聞かないといけません。短期間ではなく、長い期間説明会をやらないといけません。</p>	(ご意見を伺う)
23	<p>有料化はでたらめ。環境課やる気なし。全然具体的に動いてこなかった。分別が大事なのに、実地指導をしてこなかったのか。周知徹底させるには、言って聞かせてやってみせないと分からない。そういう努力を環境課は一切してこなかった。他の市町村がやっているから有料化、一番高いところに合わせて500円、200円でやっているところもあるのになんだそれ。全然意味が分からん。瀬戸市は10億円の繰越金があるから、そこから出せば良い。有料化の目的は市の財源を賄うものではなく、障がい者、高齢者への支援施策に活用することができますとあるが、表面的なでたらめで、やるわけないだろうが。実際、市は障がいの人たちのための1億2千万円を削っただろうが。どういう嘘だ。不法投棄が今でも行われているのに、有料化したら山に捨てに行く人がいることが容易に考えられる。有料化したらごみが減っていくのではなく、有料化したために全国の市町村が不法投棄が一番の問題で頭悩ませているということは全然書かない。デスクワークはどうしても良いから動け。各町内で実地指導をやってくれ。そしたら、分別が周知徹底される。そしたら尾張旭市のように、有料化はなくして差し戻した。環境課はそこまで努力する責任がある。実施される頃には課長はもういないだろう。今、この時この時を必死にやってみろ。</p>	(ご意見を伺う)

24	<p>万博のときに生ごみを水野地区で集めて炭にするという活動をされてたそうですけど、なぜやめてしまったのか。エコプラザがなくなってしまった時、よく利用していたのでショックだった。建物が悪くなったということでやめたと聞いたが、次に場所を作ってリサイクルできるようにするのが環境課であり、ごみを集めるのが環境課ではない。今までやったことあることをやめてしまって、市民からお金を取るのはやめてください。一生ここに住むことになりそうなので、ぜひ良い市にしてください。</p>	<p>(ご意見を伺う)</p>
25	<p>今日の報告書を作るときには、大反対であったと書かれるのか。Q&Aはもっと考えた内容にするべきだ。有料化するというは、どういうことなのかをもっと深みのあるものを書かないといけない。高齢者のことは環境課がやることではない。</p>	<p>(ご意見を伺う)</p>
26	<p>びんとか缶は食料品だけしか集めていなくて、化粧品はだめだということを知らなかった。毎年、ごみの出し方が配られているが、何十年も知らなかった。プラスチックの分別収集を始めるということだが、すごく細かい指導がないと間違えて出す人がいるのではないかと思う。有料化についても、もっと多くの市民一人ひとりが納得して協力してできるように、やっていただきたいです。</p>	<p>いただいたご意見はすべて、そのまま報告書として残します。記録としてはきちんと残しておきますが、細かくすべてを市民の人が見えるようにできるようになるかはわかりませんが、内容をまとめて見えるようにはさせていただきます。</p>

東明連区 東明公民館

日時 令和3年11月25日(木) 午後7時～8時

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 今収集しているごみは一般家庭からのごみか。事業のごみも集めているが、その費用も市民が負担するのか。	市で収集しているごみは、一般家庭、いわゆる家庭系ごみの収集運搬となります。事業系のごみは事業者が自ら処理、処分するということでお願いしており、昨年は事業所にダイレクトメールで啓発チラシを送付しました。一部の事業者様は市の集積所が使われておりましたので、適正に処理するようお願いをしております。収集員は排出者が事業者だと分かった時点で収集不可としているので、ご心配いただくことがないよう進めていきます。
2 計画はすべてが案の段階だと思うが、古いごみ袋が9月1日から使えなくなるという案だが、新しい袋が7月、切替の2カ月前から販売というのは遅いと思う。計画が決定したら、半年、一年前から新しい袋を販売すれば良いと思う。一般的には差額を払って新しい袋に変えてもらう方法もあると思うが、古い袋がごみにならないように考えて欲しい。両方袋を使って良い期間がないと、計画が不合理だと思う。	販売時期については、参考意見としていただきます。
3 ミックスペーパーは、紙ごみとして出せるということで良いのか。プラスチックなどがついたものでもフィルムをはがさないで出せるということで良いのか。出し方はどうするのか。	写真が入ったアルバムや金具がついたもの、いわゆる禁忌品が付いた状態でも、そのままミックスペーパーとしてお出しいただけます。禁忌品がついたものは、以前は出すのを控えて欲しいということでしたが、現在は出せるものとして、ここ数年間ご案内をしてきました。紙の日は新聞、雑誌、ダンボール、紙パックとは別のものとしてお出しただいて、別でリサイクルすることになります。お菓子の箱などはそれだけで集めていただき、別でお出しただきたいです。
4 シュレッターにかけたごみは使えなくなった黄色の袋に入れてよいか。ピンクの袋は40Lということであるが、もう少し大きくなれないか。口が縛れないと収集してもらえない。ビニル傘はどうしても出てしまう。	シュレッターごみのリサイクルは難しいのですが、資源RCに持ち込んでいただいたものだけ資源として受け取っています。市の収集では、シュレッターごみは紙の繊維が切れており再生が難しいので、燃えるごみとしてお出しください。 ごみ・資源物の出し方にもありますが、傘と蛍光管のみは袋から出ても回収させていただく品目となっておりますので、燃えないごみ袋のサイズを大きくして欲しいということでご意見を承ります。
5 新しいごみ袋を作るにあたり、エコバックのような形、紐状にした方が縛りやすい。手持ちのところが縛れるようにして欲しい。	先ほどの説明でもございましたが、新しい袋の規格は今後決めていくということです。特に女性から持ち手を付けて欲しいというご意見をいただいている反面、ごみの量が入らなくなるというご意見もいただいておりますので、併せて検討をしていきます。
6 ごみ袋の有料化導入が県内で約5割となっているが、名古屋市が含まれていない。よく見ると、有料化を実施しているところは愛知県の中でも外堀のようなところが多く、そこに瀬戸市が同調するのはいかがなものかと思う。ごみが多いのは分かるが、今の段階で有料化を進めるのはどうかと思う。	私どもも、有料化は簡単に決めたわけではありません。Q&Aにも記載がありますが、環境衛生審議会という機関があり、ごみ減量の取り組みとその結果をご報告、評価していただいた上で、有料化の諮問、答申という形をいただいております。慎重な審議を重ねてきました。審議会からは、有料化の前にまだやる必要があるのではないか、という指摘も受け、啓発などに取り組んできた結果、令和3年3月に、早期に有料化の導入を図りたい、という答申をいただき、このような結果となっております。

7	<p>有料化をすればごみが減るということであるが、その前にごみ減量について市民にアピールはしたのか。</p>	<p>市では、ミックスペーパーや食品ロスの削減などに取り組んできました。特にここ数年については、広報のみならずテレビに出演したり、ごみ非常事態宣言を出したりと、様々な取り組みを継続して実施してきました。その結果、ごみがどのように減ったのか、審議会で審議をいただいた結果として、有料化制度導入に踏み切るということになりました。</p>
8	<p>コンポストなど、補助金を払うからそれを買えばよいのではないか、ということであるが、りんご箱を利用してコンポストができるような簡単にみんなができる方法を指導しないからごみが減らないのではないか。市は日本一リサイクルを実施している市町などを研究しているか。その自治体は外国からも視察が来る。企業のごみは市が収集しているのは間違いない。チラシを配れば企業が協力すると思っているのか。</p>	<p>事業所については、場所を教えていただければ収集業者に伝えさせていただきます。ご意見ありがとうございます。</p>
9	<p>事業系のごみのことだが、事業系の線引きはどのように考えたらよいか。どういったところで線引きされるか。事業の規模など。</p>	<p>事業活動で出たものはすべて事業系ごみ、家庭から出たものは家庭系ごみとなり、事業の規模は関係ありません。小さい商店であっても事業系ごみとなります。</p>
10	<p>ごみを減らすことが目的だと思うので、来年やろうとしているプラスチック製容器包装を別で回収するという内容があるが、ここまで減ったらごみ袋に乗せている金額を減らすという内容があっても良いのではないか。それがないと、市民は減らす努力をしないかもしれない。ある程度減ったら金額を減らします、といったこと。役所の見直すは見直すとは思わない。数字が示せないのであれば方向性だけでも示した方が良いと思う。</p>	<p>計画案概要版に、有料化実施後、毎年、制度評価を行い5年に一度見直しをします、と記載があります通り、毎年毎年ごみ量はどうなったのか、どういった効果があったのかを分析して審議会上に報告してまいります。制度は5年単位程度で見直す必要があると考えており、現時点でどれだけ減ったらここまで下げるという具体的な数字をお示しすることは難しいのですが、制度内容をきちんと見直していきます。</p>
11	<p>名古屋市が動いていないことをなぜ瀬戸市が先にやるのか理解できない。高齢化社会で、中には排泄困難な方も見え、ごみが増える年金世帯の人もたくさんいる。有料化になるとその金額を捻出しないといけな。近隣市町は紙おむつの助成金を出しているところもあるが、瀬戸市はどうか。子育て真っ最中の人にも負担がかかる。おむつなどたくさん出るものも有料化するという事は、大事にしないといけな世代には酷な話だと思う。</p>	<p>紙おむつの助成とごみの話は別になると考えています。パブリックコメントでも紙おむつの話はたくさんいただいております。福祉部門との連携も必要になることと思っておりますので、しっかり検討していきます。</p>
12	<p>有料化に併せて実施する施策の資源回収品目の拡大ということ、種類を増やすということか。品目を増やすと大変だから、資源物はみんな一緒に入れさせて欲しい。資源ごみは資源ごみとしてひとつで集めて欲しい。いろんな種類のごみを分けろ、となると、間違えると文句を言われる。文句を言われたくないから燃えるごみに入れる、ということになる。品目を増やさずに簡単に回収できるようにしてほしい。</p>	<p>燃えるごみ、燃えないごみとして出しているものの中から資源化できるものは資源化したいということであり、分かりやすい形で資源化を進めていきたいと考えております。プラスチック製容器包装はプラスチック製容器包装だけを袋に入れてください、という形になると思います。</p>

13	<p>瀬戸はペットボトルを引き取ってもらっているが、有償か。ある市町は市民の協力により、綺麗に出すから市が手を掛けなくてもよい、業者も手を掛けずに再生できるため、収入になっているところもある。ゴミで儲けるということも考えてみてはどうか。ゴミ袋を有料化して収入が入るから補助金を出すということではなく、お金を掛けずにできる方法も考えてみては。業者は調べれば分かるはず。日本一リサイクルが進んでいるところに研究で言ったことはあるのか。</p>	<p>過去には売却できていたこともあるが、相場のようなものもあり、今は無償となっております。資源回収品目の拡大は、お金を支払ってリサイクルするものもあれば、売却でリサイクルできるものもありますので、受け入れ業者を見つけて品目を拡大したいと考えております。ご指摘いただいた自治体がどちらの自治体のことか分かりかねますが、他の自治体に状況のヒアリングは実施しております。</p>
14	<p>名古屋市が有料化を実施していないということだが、予定はあるのか。</p>	<p>有料化の予定があるとは聞いておりません。</p>
15	<p>紙類は資源ゴミとして利益を得ているのか、得ていないのか。教えて欲しい。いたるところにエコステーションが出来ている。河村商事がやっている。そういうことで利益が得られるように動いているので、瀬戸の流れが聞きたかった。</p>	<p>紙については大きくはありませんが、利益はございます。子供会などでの集団回収でもお金が入っているものと思われまして、市では奨励するような補助金も出しております。</p>
16	<p>ゴミ袋の値上げによって、将来晴丘焼却センターを建て替える際の費用になることはあるのか。</p>	<p>瀬戸市のごみ処理は、年間約9億6千万円かかっている状況で、収入の見込みは3億3千万円ということです。手数料として販売した金額はいったん全額が市に入りますが、年間のごみの処理に充てても足りない状況です。手数料収入は、毎年のごみ処理費用に満たない額となりますので、まわりまわって建設費用になることはあるかもしれませんが、晴丘センターの建設費用にまで充てることはできないと考えております。</p>

西陵連区 西陵地域交流センター
日時 令和3年11月28日(日) 午前10時～11時40分

ご意見・ご質問事項	市の回答
1 3市で晴丘センターを使っているが、費用の分け方はどうなっているのか。	晴丘センターでかかる費用の全額を、人口とごみ量で換算し按分しています。瀬戸市が一番多い費用負担となっています。
2 有料化に反対ではないが、資料の直近10年で有料化を実施した市町村のごみ減量率が前年比で示されている。有料化が発表されるとごみを出し切り、有料化後には出すごみが無い状況だと思う。前年比減で安易にごみが減ったと判断して良いのか。有料化発表前と有料化を実施した2,3年後のごみ量で判断すべきではないか。	有料化を実施した150程の自治体を調査した結果について、平成29年度に東洋大学の山谷先生が調査しており、有料化を実施した自治体では有料化翌年では10～20%の減量がされており、5年後も継続して減量がされていることを確認しています。表の半田市から阿久比町が前年度比となっているのは、令和3年度から有料化を開始したばかりということもあり、前年比としています。減量率は、手数料金額に比例するところもあり、大袋100円にしたところでは、小さい袋を使うようになるということもあります。市が期待する減量効果と皆様が出来ただけごみを出さないように資源化を徹底する行動がありますので、50円は近隣市町の状況をみて減量効果が見えてくるところで設定しております。
3 手数料収入の使い道が、障がい者や高齢者、子どもへの支援施策の活用とあるが、高齢者や障がい者がいる世帯や所得が低い人に対しては手数料を安くする施策という理解でよろしいか。そうでなければ晴丘センターのメンテナンスに費用を取っておいて欲しいと思う。	ごみ袋の費用負担では、公平性を確保するため一律同じ価格で考えています。年金生活で生活が苦しい高齢者等に対しての減免についても、パブリックコメントでご意見をいただいている状況です。ごみ袋代の減免については、公平性を確保するという考えのもと、一律皆さんに負担いただくことを考えています。手数料を負担することが難しい方への対応については、パブリックコメントや他地域の説明会でもご意見を頂戴しておりますので、検討は行っていきたくと思います。
4 瀬戸市はマナーが良いと思うが、有料化後に古い袋を使ったり、不法投棄が増えることが考えられる。曾野町では今でも不法投棄が見られる。対策について教えて欲しい。	今でも不法投棄はあります。古い袋を使って出されたごみについては、回収しないことを考えております。この場で具体的なことは申し上げられませんが、現在実施している不法投棄等の対策をもとに、今後どのように対応していくのか、検討して参ります。貴重なご意見として承ります。
5 山の枯れ葉が側溝に溜まる。それを自主的に地域の人が片付けている。公園や山のごみも地域清掃の対象になるのか。家庭ごみと地域清掃のごみが分かるように、区別できる工夫を行って欲しい。	道路や側溝にあるごみは、皆様のご厚意で掃除していただいていることもあり、有料化後は個人の負担でやるのかや、もう掃除はしない、というご意見もいただいております。皆様のご意見をいただきながら決めていきますが、減量行動の負担にならないようにしていきます。また、地域清掃は別の袋を用意できるようにするなど、ご意見を参考とさせていただきます。

6	<p>有料化に反対です。剪定枝や布団、絨毯に袋を貼り付けると、焼かれるだけで減量にはならない。袋を貼り付けなくても回収して欲しい。主婦は10円でも20円でも安いものを買おうとしている。12円くらいの袋が一気に50円になるのは、通常の商売では考えられないこと。ごみを減らす方向でいったら、平成27年から28年でごみ量が下がっているのに、ごみ減量と有料化は結び付かないのではないかと。瀬戸市からの説明や働きかけの方が大事なのではないか。処理手数料が加算されることは、税金が増えるのと同じ。市民税の中で処理費を出して欲しい。公平性の確保とあるが、大人数の家族ではごみがたくさん出る。低所得の人には負担が大きいことを考えると、公平性に欠けるのではないかと。手数料を下げたい。新潟市のように、生まれた子どもに3年分の袋を出すとか考えてほしい。</p>	<p>剪定枝等については、どの量でいくらの袋をつけるのかということについて、これから検討していくこととなりますが、公平に処理費用をいただくということで、袋を貼り付けるという案を出しています。袋を盗まれるというご意見やシール等他の方法が良い等、いろいろなご意見をいただいております、これから検討していくこととなります。袋の値段が4倍になると家庭の負担になることは重々承知しておりますが、目的はごみ減量です。今現在、燃えるごみ袋の中に資源物が入っておりますので、分別徹底にご協力いただき、ごみ袋代の負担が重くならないように努力して欲しいと思います。処理費用にかかるお金が袋に加算されますが、ごみ減量に努めていただきたいです。税金は、焼却炉の整備費用等に使うこととなりますので、まずは、焼却炉が痛まないようにごみを減らして欲しいと思います。税金を焼却炉の整備費用に使わなくても済むようにしたいので、ご理解願います。家族が多くても、公平性の観点から費用負担は同じとなり、資源物の分別徹底や食品ロスの削減、水切りなどをしていただきたいです。組成調査の結果からみても、2～3割は資源物であり、夏場は食品からの水分が多いです。分別徹底と水切りを実施していただくことで、焼却炉の延命にもつながります。また、生まれた子どもに袋3年分や県内でも世帯人数に応じて袋1年分をお渡ししている自治体もあります。その分を使い切ったら高額の袋を買うという方法をとっているところもありますので、ご意見は参考にさせていただきます。</p>
7	<p>有料化は今年度の3月に決まることになっているのか。また、分別してから有料化という認識で良いのか。</p>	<p>説明の中でもお伝えしましたが、有料化はすでに決まったことではございません。また、分別は今でも実施いただきたいことであり、プラスチック製容器包装の分別が来年度から追加になるということです。ミックスペーパーの分別などは継続して実施していただきたいと思っております。</p>
8	<p>今でもごみの袋には気を付けて1袋に納めるように頑張っており、余分なごみは出していません。前回、ごみの分別が変わったが、瀬戸は啓発が弱かった。名古屋市は分別するのに困るくらい分別している。今のごみにはプラごみが約半分入っている。スーパーで買うものはプラに入っているから、プラを分別すればごみが確実に減る。どれがプラごみになるのか、皆も困っていると思うので、再来年の9月までにしっかり周知して欲しい。そうしないと有料化してもごみ量は変わらないと思う。値上げは100円から120円になったのが1回目、2回目は500円と何年かごとに値上げとなつては困る。そのようなことがないように約束してもらわないと、50円は受け入れられません。</p>	<p>プラごみを分別するとごみが減ることは、他の皆様にも実感いただきたいところです。市民の中には、ごみに関心がない方もみえますので、減量の取り組みをどのように伝えれば良いのか、広報、HPが良いのか、地域に出て市が説明をするのは職員の人数にも限りがありますので、自治会や地域力の皆様にご協力いただいております。分別したものをどこに出すのかについては、地域の皆様が分別できる場所を提供するという取り組みをされているところもあり、そのような活動には支援をしていきたいと考えています。ごみ処理費用の有料化を広報に掲載したところ、反響は大きいです。皆さんに現状を知っていただき、5年、10年先どうやってごみを減らしていくのか、考えていきたいと思っております。また事業者への働きかけについては、ごみになるものを作らないよう啓発していくのも市の仕事だと考えます。市民だけでなく事業所に対して、国からなのか県からなのか、指導することを進めていくことになると思います。貴重なご意見ありがとうございます。</p>
9	<p>減量するには分別、資源化しかないと思う。チラシとかミックスペーパーといった資源になるものをすべて資源化すればよく、ごみは減ると思う。環境衛生審議会で答申されて2023年から有料化をやるという方向性は良いと思うが、瀬戸市全連区で説明しているということであるが、参加者のことを考えると9月1日から有料化になると思っている方が多いので、地域へ出て声を聴かないと本当のものができないかなと思う。その辺りをしっかりやっていただきたい。努力している人、していない人の差をつけてもらい、努力している人を無視するようなことはやめて欲しい。</p>	<p>環境衛生審議会にて答申を受けて有料化の検討を行っておりますが、審議会の中でも2年前にすでに有料化ということではなく、いったん分別の啓発に取り組みなさいということを経て答申をいただいております。分別については、プラスチックを何でやらなかったか、というご意見もいただいておりますが、組成調査の中で一番多かった紙類にターゲットを絞って進めてきた経緯があります。プラスチックは嵩はあるが重さはありません。プラスチックは今後分別に努めていきます。努力している方は今の状態を続けていただき、減量をしていない人に取り組んでもらえるように説明していきたいと思っております。地域に市の職員が出ていくことについて、どこまでやるのかということもありますので、ご意見として頂戴します。</p>

10	<p>収入の用途について、福祉や高齢者に使うのは問題があると思う。福祉関係の予算をしっかりと使っていただきたい。ゴミで得た収入はゴミに関して使っていただくようにして欲しい。また、意識改革が先だと思う。値上げの方が先にきているように感じる。値上げありきだと考えている人も多いと思う。そのようなことは行政に問題があるのではないかと。住民に分別が必要だということをもっと前の段階から行うことが必要で、分別の練習みたいなことをやるべきだったと思う。自治会を通じて説明をするということをやれば、市の手間も減ると思うので、地域の力を借りて分別の訓練を進めて値上げに備えることが必要だと思う。</p>	<p>手数料の用途について、チラシの記載に分かりにくいところがありますので、実施計画は修正して参ります。また、突然の有料化が不安をあおっていないか、ということについては、有料化という文字を見てゴミについて初めて関心を持たれた方もお見えになると思います。11月30日までご意見をいただいております、いろんなご意見をいただく中で決めていくものですが、もっと早く気づけばよかったという方も見えます。今が皆でゴミを考えるチャンスですので、ゴミ減量に取り組んでいる人がそうでない人にも伝えて取り組んで欲しい。自治会、町内会など周知の方法については、どうすれば良いかを含めて自治会の意見を聞きながら進めていきます。職員の数も限られておりますので、地域の力を借りて進めていきたいと思っております。</p>
11	<p>プラゴミ分別を開始するという事で、新しい袋ができるということか、いくらになるのか。ゴミ分別辞書の拡充とあるが、HPで掲載しているということだが、家庭に一冊、配って欲しい。ゴミの出し方を皆が分かるようにして欲しい。早く配布して欲しい。晴丘の焼却場について、3市で使っているが、晴丘が将来なくなる予定があって3市のゴミを遠くまでもっていかないといけなくなると聞いたので、本当かどうか教えて欲しい。</p>	<p>プラの袋については、分別収集するものですので有料化は考えておりません。出し方等ははまだ決まっておりますので事前に周知します。分別辞書の拡充については、来年度以降で冊子にした状態で全世帯に行き渡るように考えていますので、今の段階ではHPをご覧いただきたいと思っております。晴丘センターの移転については、そこまでは承知しておりません。今、延命化の工事をしており、焼却炉が長持ちするように減量に取り組んでいただきたいと思います。また、ゴミが出ると灰が出て最終処分場に持って行きますので、一杯になると新しい処分場に困ることになります。ゴミを減らす、灰も減らす、地球にやさしい循環型社会に繋げて欲しいと思う。限られた資源を大切に使う、3Rを徹底することで実現できるものと考えています。</p>
12	<p>晴丘センターを3市で使っているということだが、尾張旭市と長久手市も一緒にゴミ減量に対応しているのか。3市合同で対応した方が晴丘センターにも良いのではないかと。</p>	<p>3市で定期的に会議も開催しており、ゴミ減量について議論をしています。市の取り組みには差があり、プラスチックの分別は瀬戸は実施しておらず、ミックスペーパー等の紙類やペットボトル等の資源物の啓発に取り組んできており、今後、プラスチック製容器包装の分別収集に取り組むこととなります。</p>
13	<p>容器包装プラスチックは分別しているが、尾張旭と長久手は晴丘で燃やしているのか。そのために予算が組まれているのか。</p>	<p>分別して再資源化するものなので、晴丘で燃やすことはありません。他の2市も同じです。当然お金がかかるので予算が組まれます。分別するということはお金がかかるということなので、市議会に諮ってまいります。</p>
14	<p>ゴミとプラスチックが半分半分という意見もあったが、3月に値上げを決定してプラスチック分別が秋ということになると、市民の努力をみた進め方にならないのではないかと。順序が逆ではないのか。分別してゴミが減ってからであれば納得できる。プラを分別すると費用がかかるということも認識できる。</p>	<p>プラスチック製容器包装を分別することで、ゴミ減量を実感し分別にはお金がかかる、ということもお伝えできると思っております。審議会から答申をいただき、分別と有料化を同時進行で実施するという結果となっております。現状は2年後の有料化の説明と同時に分別を今以上をお願いすることで進めております。ご意見として承ります。</p>

祖母懷連区 祖母懷公民館
日時 令和3年11月29日(月) 午後7時～8時5分

ご意見・ご質問事項	市の回答
<p>1 ごみの分別はたくさん種類に分別しないとイケない。今まで瀬戸市としては、プラスチックも燃えるごみの中に入れてしまって、ペットボトルや紙類だけを分別していた。それでは、ごみが減らないので有料化ということだと思うが、分別をしても有料化をしないとイケないのか。</p>	<p>現在、本市ではプラスチック製容器包装は燃えるごみで出させていただいて、燃やしている状況です。これを分別して回収することになると、別で収集をし、中間処理を行うにはお金がかかります。今の見込みでは、プラスチック製容器包装の分別回収を始めるにあたり、およそ1億円かかることとなります。そうまでして、分別するのかというご意見もあるかと思いますが、プラスチック製容器包装が燃えるごみの中に3分の1から多いときは半分くらいを占めているので、これらを資源化したうえで、有料化の制度導入を考えています。</p>
<p>2 1人1日あたりのごみの排出量のグラフを見ると、平成28年度から段々ごみの排出量が増えている。瀬戸市は県内のワースト10に入っているが、近隣の長久手市や尾張旭市はごみを出さない優秀な市となっており、瀬戸市との違いは比較はしたのか。瀬戸市の人口が減っているにも関わらずごみが増えていると言ったが、ごみの中身をきちんと確認して把握はしているのか。環境衛生審議会で答申を受けて、有料化の検討を開始したとあるが、審議会でもどこまで議論し、有料化を進めることになったのか。そういった資料があるならば、市民にしっかり説明して有料化をするのが筋だと思う。今日のような資料をだけでは有料化と言われても、市民には伝わらないのではないのか。</p>	<p>尾張旭市、長久手市は同じ晴丘センターを使用しているが、ごみの排出量に違いがあるということですが、分別についてはプラスチックの分別収集をやっていないことが一番大きい要因として挙げられます。ごみの組成の分析では、3市の内容は大きく変わりません。プラスチック製容器包装や紙類が燃えるごみに入ってしまった状況です。ごみの組成調査を毎年、地区を分けて実施しており、審議会に報告をしています。審議会から、まずはミックスペーパーや食品ロスの削減に取り組むのが先ではないかとなり、およそ2年の間、取り組みを進めてきました。この取り組み状況の結果をみて、次の減量施策として、環境衛生審議会から有料化を早期に図りたいと答申を受けました。</p>
<p>3 市民に対しプラスチック分別回収について、しっかり説明し回収を行い、長久手市や尾張旭市のようにごみが減れば、有料化は必要ないのではないのか。市民も話を聞けば、しっかり分別を行うと思う。有料化に反対というわけではないが、市民が納得して有料化が行われないと不法投棄が心配です。</p>	<p>有料化をすでに実施している市町村から聞いている話によると、有料化をすることにより不法投棄が増えたとは聞いておりません。プラスチックの分別収集を先にやってからというご意見もありますが、令和4年度からプラスチック製容器包装の分別収集を始めることを予定しており、45リットルの袋から30リットルの袋にごみを減らせることを実感していただき、令和5年度9月から有料化の実施を考えています。</p>

4	<p>日本一ごみが少ないのは長野県らしいですが、ごみの削減方法をネットで調べると多くあり、それに比べると瀬戸市は足りないと感じます。コロナ禍でごみが増えている今、増税に近いことをやる必要があるのでしょうか。また、地方自治体法2条で家庭ごみの回収、運搬、処分は特定の個人の要求に基づいた利益のために行うものではなく、市町村で処理、処分をしなくてはならないと定めがあるらしいが地方税を払っているので違反にならないか。地方自治体法227条で手数料を徴収できないと規定があるので、どういう取り決めになっているのでしょうか。税金負担能力のない非課税世帯に新たな負担が増えることに対しては、どのように考えているのでしょうか。</p>	<p>税ですべて賄うべきではないかということだが、有料化については国の方針が示されており、また、全国で6割の愛知県内では5割の市町村がすでに実施しているものになりますので、法律に違反するものではないと思っております。</p>
5	<p>町内のごみ処分について、町内会のお金が使われていると聞いた。2重3重で税を徴収していることになるのではないか。</p>	<p>ごみの処理にかかる費用は1年で9億6千万円となっており、粗大ごみを処理する際に粗大ごみ処理券を購入いただいた分の処理費用以外は、すべて市税で賄っており、町内のお金を使っていることはないです。</p>
6	<p>スーパーのトレイの処理が大変です。企業が食品を包む方法を考えられないとごみが減らない。</p>	<p>プラスチック製容器包装は本市も回収していくこととなります。市で回収したものは容器包装リサイクル協会を介し、リサイクルしていくことになるが、リサイクルする費用は企業もお金を拠出しています。企業も作りっぱなしということではなく、リサイクルをする責任があるということを持っていると思います。</p>
7	<p>1人1日あたりのごみ排出量の目標数値が483gとなっているが、有料化をし目標数値に達した場合、無料になることはあるのか。</p>	<p>一般廃棄物処理基本計画に基づいて、令和5年度までの目標数値がございます。有料化を令和5年9月から開始と予定しているが、毎年、実績と効果を環境衛生審議会に報告をしていきます。基本計画は10年の計画を策定し、5年ごとに見直しを行います。令和5年度の目標値を達成できたら、すぐに無料になるものではないが、有料化の制度は結果と効果のみで、見直しをすることはお約束ができます。</p>
8	<p>不法投棄が心配ではあるが、有料化の制度が開始され違うごみ袋で出された場合、一番困るのは置場の近く人や自治会の人であることを理解して手当してほしい。また、実際に燃えるごみを焼いてしまう人もいることと、焼却不十分でダイオキシンが出る心配があります。焼却は禁止されているはずなので、そういったことも考えてほしいです。そのことについて、最終的に困るのは市民になるので、そこも含めて考えてほしいです。</p>	<p>不法投棄や屋外燃焼行為は不適正な処理になります。環境課に連絡をいただければ、適正処分をするようきちんと指導をいたします。有料化に関わらず、きちんと啓発の徹底をして参りたいと思います。</p>
9	<p>手数料収入の用途について、障がい者、高齢者そして子どもへの支援施策の実施に活用と耳障りの良いことが書いてあるが、ごみの手数料になるの、それは会計を別にし税金で行うものである。処理費用に関しては大の袋のサイズは50円ではなく45円が妥当であると思し、使い道については、そこは混ぜないようにしてほしい。</p>	<p>処理費用の9億6千万円はほぼ税金で賄っております。手数料収入見込みの3億3千万円は、すべてごみの処理、処分に使うこととなります。その他に、ごみの減量化、資源化に充てます。ごみが減り、今までごみ処理に使っていたお金で支援施策のほうへも活用できると考えております。</p>

10	<p>不法投棄が県道沿いに今でもたくさんある。地域清掃をすると驚くほどの量がある。地域外のごみ投棄される心配もあるので、見回りも必要だが罰則として追及することはできますか。</p>	<p>啓発の強化やパトロールや監視カメラの設置をしていく予定ですが、今でも排出者の特定や警察と連携し適正に処理してもらうように努めています。</p>
11	<p>ごみ処理の広域化について、ネットで調べるとできました。プラスチックを燃えるごみから抜くと延命化にもつながると説明があったが、晴丘センターはどれくらい使えるのか。次に建設を予定しているのは、晴丘センターではなく、広域化を目指した施設が建てられることになるのか。また、ごみが減っていけば広域化で処理をしていくことになるのか。</p>	<p>晴丘センターは、尾張旭市、長久手市、瀬戸市の3市で焼却炉を使っており、今ちょうど延命化工事をしていません。10年延命することになり、10数年後には今の炉が使えなくなり、新しい炉が必要になります。今年の3月に広域化に関する協議会で尾張東部と尾三の日進市、みよし市、東郷町との6市町で広域化処理できないか検討できないかと愛知県から要請があり検討して参りました。ただ、先ほどのご説明のとおり、次の更新まで10年しかないため、それぞれで更新をし、40年後には広域化を目指すことで協議がされましたので、次の更新は今の枠組みで更新をします。</p>
12	<p>福祉などの支援施策はすでに実施されているかと思うが、この財源はどこから出ているのか。市の財源から実施しているものであれば、結局市の財源を賄うものになるのではないか。</p>	<p>福祉の施策については市の財源で行っているものになります。今考えているのは、他の自治体の例からおむつがなかなかごみとしては減らせないため、おむつだけを別で回収しているところもあります。パブリックコメントの中でも、おむつは減らすことができないといったご意見をいただいております。手数料収入を使うわけではないが、ごみが減り税金を使わずに済む分については、支援施策に充てていけるよう検討していきます。</p>
13	<p>瀬戸市は人口が減っているが、塩草には新しい人が入ってきています。子育て世帯も多く、毎日おむつがたくさん出るので、ごみ袋をたくさん使うことになる。有料化になると、なぜ瀬戸市に引っ越してきたのかということになる。おむつの処理費を、税金で処理してほしいという意見があったことを残していただきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。</p>